



大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
岐阜女子大学	企画広報部	特別奨学金制度[学校推薦型選抜(指定校制・公募制)対象]	学校出願時		学費支援	1. 対象学年 1～4年生の学生対象	給付奨学金	年額40万円	入学時1回のみ	10名	地域の制限なし	総務部	併用不可	併用可	
	企画広報部	特別奨学金制度[在学生対象]	在学中	1年生～4年生	学費支援	1. 対象学年 1～4年生の学生対象	給付奨学金	年額40万円	1年間(毎年選抜)	年間40名	地域の制限なし	総務部	併用不可	併用可	
	企画広報部	選考者特別奨学金	在学中	1年生～4年生	その他	特待生・成績優秀者 学費支援 入学会・授業料免除	給付奨学金	2万円/回	年2回	人数制限なし	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
	企画広報部	特別入学制度	入学後		学費支援	1. 対象学年 1年生	給付奨学金	入学金の半額	1年生1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
	企画広報部	災害被災学生並びに入学生奨学金	随時		被災者資金支援	1. 対象学年 1～4年生の学生対象	免除・減免	当該年度の授業料の2分の1の金額を減免。 (減免内容は被災状況により、個別対応)	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
	企画広報部	沖縄教育基金	在学中	1年生～4年生	学費支援	1. 対象学年 1～4年生の学生対象	給付奨学金	①入学時一律20万円 ②3～4年生まで毎年一律10万円	1年1回	人数制限なし	沖縄県	総務部	併用可	併用可	
	企画広報部	同窓会員の子女等奨学金	入学後		学費支援	1. 対象学年 1～4年生の学生対象	免除・減免	10万円/年	1～4年 ※各学年次分について重複しての給付は行わない。		人数制限なし	地域の制限なし	同窓会	併用可	併用可
	企画広報部	特別奨学金制度(一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜対象)	その他	申請の必要なし	申請の必要なし、一般選抜結果で成績上位者が対象となる	学費支援 入学会・授業料免除	1. 対象学年 1～4年生の学生対象	給付奨学金	20万円(初年度授業料の3割)	入学時1回のみ	一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜合格者の成績上位30%	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可
	岐阜聖徳学園大学	入学広報課	スカラシップ	その他	申請の必要はなく、一般選抜結果で成績上位者が対象となる	特待生・成績優秀者 学費支援 入学会・授業料免除	1. 対象学年 1～4年生の学生対象	免除・減免	1. 教育学部 : 学費全額 2. 外国語学部 : 授業料全額または授業料半額(成績順位による) 3. 経済情報学部 : 授業料全額または授業料半額(成績順位による) 4. 看護学部 : 学費全額または授業料半額(成績順位による)	4年間	委員会決定する	地域の制限なし	入学広報課	併用可	併用可
入学広報課		課外活動奨励奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者 課外活動奨励奨励 入学会・授業料免除 学費支援	1. 対象学年 1～4年生の学生対象	免除・減免	学費全額、授業料全額、授業料半額	4年間	非公表	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
入学広報課		指定校制奨学金	学校出願時		入学会・授業料免除	1. 対象学年 1年生	給付奨学金	30万円	入学年度のみ	非公表	地域の制限なし	入学広報課	併用可	併用可	
入学広報課		課外活動特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 課外活動奨励奨励 入学会・授業料免除	1. 対象学年 1年生	給付奨学金	30万円	入学年度のみ	非公表	地域の制限なし	入学広報課	併用可	併用可	
入学広報課		Yawara奨学金	学校出願時		学費支援 入学会・授業料免除	1. 対象学年 1～4年生の学生対象	免除・減免	授業料半額	4年間	委員会決定する	地域の制限なし	入学広報課	併用可	併用可	
入学広報課		学生外国留學奨学金	入学後		留學費用支援制度	1. 対象学年 2～4年生の学生対象(在籍1年以上必要)	給付奨学金	留學先の授業料相当額(上限あり)、航空運賃の一部(派遣留學のみ)			学部教授会で決定した人数	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可
入学広報課		海外研修奨学金	入学後		研修支援制度	1. 対象学年 3年生	給付奨学金	20万円			人数制限あり	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可
入学広報課		被災学生支援奨学金	その他	災害による被災時	入学会・授業料免除 被災者資金支援	1. 対象学年 1～4年生の学生対象	給付奨学金 免除・減免	1. 免除・入学給定料・入学会 2. 給付・審美の上金決定				地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
中部学院大学		入試広報課	指定校推薦入試特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学会・授業料免除	全学科・高等学校ごとに定める評定平均値を満たす者	免除・減免	授業料の全額相当、半額相当、入学会相当※評定値により異なる		原則、卒業までの4年間(入学金は入学時) ※2年次以降は本学が定める所定の成績を修めること	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可
	入試広報課	英語検定取得者特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学会・授業料免除 課外活動奨励奨励 研修支援制度	(A) 取得者奨学金 入学時(英語検定2級以上(全英英語))取得者またはそれに準ずる者 (B) 取得支援奨学金 入学後、奨学金以上を取得した者またはこれに準ずる資格を取得した者 (C) 海外研修支援奨学金 全学科・英検2級以上を取得した者またはこれに準ずる資格を取得した者が、本学企画する海外研修に参加する場合	免除・減免	(A) 取得者奨学金 子ども総合学科は授業料全額相当 人間福祉学科、理学療法学科、看護学科、スポーツ健康科学科は授業料半額相当 (B) 取得支援奨学金 取得し、入学時に、10万円の特別奨励金を支給 (C) 海外研修支援奨学金 海外研修の運賃・宿泊費を支援(上限あり)	取得者奨学金、原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を修めること	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	入試広報課	課外活動特待生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学会・授業料免除	全学科・本学が指定するスポーツ・吹奏楽の全国大会等で活躍するなど特に顕著な成績を修めた者	免除・減免	減免額は、高校での活動実績、成績等を勘案して選抜 ※学納金全額相当、授業料全額相当、授業料半額相当、入学会相当		原則、卒業までの大学4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を修めること 指定クラブ等に継続して所属すること	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可
	入試広報課	学業優秀者奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学会・授業料免除	全学科・入学試験における成績優秀者・各入学試験において成績等の上位者から選抜	免除・減免	授業料の全額相当、半額相当、入学会相当		原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を修めること	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可
	入試広報課	羽田奨学金	学校出願時		学費支援	将来、介護・福祉関係の職に従事しようとする者・家計や成績等をふまえて選抜 対象学科：人間福祉学部人間福祉学科	給付奨学金	年間 100,000円	1年間			地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可
	入試広報課	障がい学生奨学金	入学後		その他	障がいのため修学上特別な費用を負担している学生	給付奨学金	20,000円～100,000円(年間) 障がい状況により決定する。	①1年間			地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可
	入試広報課	災害被災者奨学金	随時		被災者資金支援	全学年・全学科・災害等により学業の継続が難しく困難となった者	免除・減免	当該年度の授業料の1/3に相当する額を被災状況により決定する。	①1年間 ②1回限り			地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可
	入試広報課	後援会修学資金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	全学年・全学科・家計急変のための経済理由により修学の継続が困難な者	貸付奨学金	当該年度の半期学納金の範囲内	①1年間 ②1回限り			地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可
	入試広報課	介護福祉士資格取得者特別奨学金	学校出願時		入学会・授業料免除	①介護福祉士資格取得者(取得見込み含む) ※資格取得見込みの者が、大学入学までに取得できなかった場合は対象外となります。 ②対象学科：人間福祉学部人間福祉学科	免除・減免	授業料の半額相当		原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を修めること	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
岐阜保健大学	入試広報課	特別奨学生入試受験者の特別奨学生制度	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入学試験の結果により、成績上位者より特別奨学生SSS～Bを選考します。 特別奨学生に選考される者 特別奨学生SSS:入学金免除・授業料全額免除(最長4年間)＋施設および教育充実費(最長4年間) 特別奨学生SS:入学金免除・授業料全額免除(最長4年間)＋演習・実習費(最長4年間) 特別奨学生B:入学金免除・授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生A:授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B:授業料半額免除(最長4年間) ※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。			免除・減免	特別奨学生SSSは入学金200,000円の免除に加え、授業料全額免除700,000円(年間)、施設費および教育充実費300,000円(年間) 特別奨学生SSは入学金200,000円の免除に加え、授業料全額免除700,000円(年間)、演習・実習費250,000円(年間) 特別奨学生Sは入学金200,000円の免除に加え、授業料全額免除700,000円(年間) 特別奨学生Bは授業料半額免除350,000円(年間)	4年間 ※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。	看護学部 看護学科 15名 リハビリテーション学部 理学療法学科 10名 作業療法学科 5名 ※特別奨学生SSS～Bを合わせた人数です。	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可	
		一般入試受験者の特別奨学生制度	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入学試験の結果により、成績上位者より特別奨学生A、特別奨学生Bを選考します。 特別奨学生に選考される者 特別奨学生A:授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B:授業料半額免除(最長4年間) ※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。			免除・減免	授業料全額免除:年間70万円 授業料半額免除:年間35万円	最長4年間 ※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。	若干名	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
		大学入学共通テスト利用入試受験者の特別奨学生制度	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入学試験の結果により、成績上位者より特別奨学生A、特別奨学生Bを選考します。 特別奨学生に選考される者 特別奨学生A:授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B:授業料半額免除(最長4年間) ※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。			免除・減免	特別奨学生A:減免額年間70万円 特別奨学生B:減免額年間35万円	最長4年間 ※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。	若干名	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
		在学学生内閣学生会制度	在学中	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	前年度(2年度の場合、1年度)の学業成績により、奨学金を決定します。			免除・減免	授業料の半額を免除	1年間 ※学業成績が優秀な場合には、次年度も継続して授業料等の減免措置が受けられます。	若干名	地域の制限なし	学務課	併用可	併用不可	
静岡工業大学	学生支援課	新入生特待生	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入学試験において、特定の入試種別を履修し、学力試験の結果または活動実績が優秀だった者			免除・減免	新入生学業特待生S:授業料全額 新入生学業特待生A:年額40万円 新入生学業特待生B:年額30万円 新入生学業特待生C:年額10万円 新入生スポーツ特待生S:授業料全額 新入生スポーツ特待生B:年額20万円 新入生スポーツ特待生C:年額10万円	人数制限なし	人数制限なし	地域制なし	入試課	併用可	併用可	
		在学学生特待生	在学中	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	3,4年生 学業在学学生特待生 前年度までの修業単位数が本学の基準値以上であり、前年度までの累積GPA上位者であること。 スポーツ在学学生特待生 前年度教員が承認したクラブに属し、そのチームの主力選手、もしくはそれに相当する学生であること。			免除・減免	学業在学学生特待生 在学学生特待生A:授業料年額20万円免除 スポーツ在学学生特待生 在学学生特待生A:授業料年額20万円免除	1年間	学業在学学生特待生:各年次各 スポーツ在学学生特待生:各学部各年次数 を決定し、人数及び種別を決定	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	大化け教育資金貸付	随時	その他	学生の文化け(洗剤能力の引き出し・開発等)を目的とした支援金の貸付			貸与奨学金	1人当たり20万円上限 ※貸与を受けた日から6ヶ月以内に一括返還しなければならぬ	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	経済的援助奨学生制度	随時	用途を定めない経済的支援	1年～4年生 1 家計の急変による生活が困難な者 2 現在、貧困状態に陥っている者、又は将来に陥ると見込まれる者 3 独立行政法人日本学生支援機構奨学金の算定基準を満たす者 4 本学の基準値以上を維持している学生			給付奨学金	年額30万円	1年間	各学部5名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	学生支援課	社会人学生修学・学事奨励金制度	入学後	その他	修学及び学事活動を奨励することを目的とした奨励金	入学した年度の4月1日現在において、原則として55歳以上の者			給付奨学金	奨励生A:年額40万円 奨励生B:年額30万円 奨励生C:年額20万円	1年ごとに申請	各学部各年次5名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	学生支援課	特別特待生	入学手続時	入学金・授業料減免	特別特待生候補者として認められ、入学試験を受験した学生のうちから選考します。 スポーツ分野 全国トップレベルの実績を持ち、リーダーシップ、統率力を兼ね備え、入学後、本学において競技を継続できる学生 その他の分野 特長を有し、本学の発展に寄与することができる学生			免除・減免	入学金・授業料・施設設備費の全学免除	4年間※1年ごと審査あり	人数制限なし	人数制限なし	スポーツ振興部	併用可	併用可	
学生支援課	入学金減免	入学後	入学金・授業料減免	本学が定めるいづれかに該当した場合は、入学金減免を行う			免除・減免	10万円	1回限り	人数制限なし	静養寮	総務課	併用可	併用可		
静岡理工科大学	入試広報推進課	授業料100万円給付奨学生【授業料サポート100】	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入試成績により選抜。一般前期(A)、一般前期(A)向進トランス、前期共通テスト利用(A)、前期共通テスト利用(SI)において成績上位者の者を採用。			免除・減免	年間100万円	最大4年間	20名以内	地域の制限なし	入試広報推進課	併用可	条件有り併用可	
		授業料50万円給付奨学生【授業料サポート50】	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入試成績により選抜。専門学校・総合学科給付奨学生推薦において成績優秀者3名以内、公募給付奨学生推薦において成績優秀者30名以内、前期共通テスト利用(A)において合格者の内、各科目点率85%以上の方、前期共通テスト利用(SI)において合格者の内、各科目点率60%以上の方(※人数制限なし) ※データサイエンス専攻のみ中期・後期共通テスト利用(A)も対象			免除・減免	年間50万円	最大4年間	(3)対象学年・学部・資格・条件の通り	地域の制限なし	入試広報推進課	併用可	条件有り併用可	
	入試広報推進課	静岡理工科大学緊急援助奨学金	随時	学費支援	次に掲げる条件全てを満たす者 ・家計急変により授業料の滞りや滞りがある学生で、授業料を滞りなく支払うことが困難な者 ・被災地(被災地)に在住する学生で、被災地を支援する目的で奨学金を申請した者、または既に奨学金を受けている者 ・学業継続の意志が強く、かつ、人物優秀で本学が認めたい者			免除・減免	半額授業料全額	在学中1回を原則とする	各学期で2名まで	地域の制限なし	学務課	併用可	条件有り併用可	
	入試広報推進課	静岡理工科大学卒業生及び在学学生の兄弟姉妹・子に対する給付奨学金	入学後	入学金・授業料減免	次に掲げる条件のいずれかを満たす者 ・奨励金の対象に在籍した卒業生 ・本校の卒業生本人の「種別」が本人に入学している			免除・減免	入学金全額(30万円)	1回のみ	人数に限りなし	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可	
	入試広報推進課	在学学生奨励金	在学中	特待生・成績優秀者	次に掲げる条件全てを満たす者 ・成績保持の成績順位が、上位3%以内である者 ・人物が本学学生として模範である者 ・本学に在籍し、学業に専念している者 ・本学の発展に寄与(給付奨学金を受給していない者) ・本学の発展に寄与(授業料減免を受けていない者)			免除・減免	年間50万円	1回限りとする。ただし、再度、奨学生として選考することはない。	理工学部は各学科にて各1名以内・情報学部は学部全体で5名以内	地域の制限なし	学務課	併用可	条件有り併用可	
	入試広報推進課	在学学生奨励金	在学中	特待生・成績優秀者	次に掲げる条件全てを満たす者 ・成績保持の成績順位が、上位3%以内である者 ・人物が本学学生として模範である者 ・本学に在籍し、学業に専念している者 ・本学の発展に寄与(給付奨学金を受給していない者) ・本学の発展に寄与(授業料減免を受けていない者)			免除・減免	年間50万円	1回限りとする。ただし、再度、奨学生として選考することはない。	理工学部は各学科にて各1名以内・情報学部は学部全体で5名以内	地域の制限なし	学務課	併用可	条件有り併用可	
聖隷クリストファー大学	入試・広報センター	菅野・太田・長谷川奨学金	在学中	全年半・全年部	用途を定めない経済的支援	病者、国内外を問わず広く保健医療福祉及び教育・保育の分野において、社会に貢献する志を有する学業成績、人物ともに信頼のおける誠実な学生		貸与奨学金	月額 20,000円～70,000円(10,000円刻み)	修業年限の終期まで	若干名	地域の制限なし	学生サービスセンター	併用可	併用可	
		聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校同窓会・後援奨励金	在学中	2～3年度生以上	用途を定めない経済的支援	卒業後、保健医療福祉及び教育・保育の専門職として社会に貢献する志を有する誠実な学生のうち、経済的理由により学業に専念することが困難な者		貸与奨学金	月額 40,000円	修業年限の終期まで	毎年2名	地域の制限なし	学生サービスセンター	併用可	併用可	
	入試・広報センター	MH奨学金	在学中	3～4年度生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	卒業後、国内外を問わず看護師、保健師、助産師または養護教諭として社会に貢献する志を有する、学業優れた学生		給付奨学金	500,000円	在学中1回のみ	毎年2名	地域の制限なし	学生サービスセンター	併用可	併用可	
	入試・広報センター	難関予備奨学金	在学中	3～4年度生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	卒業後、国内外を問わず看護師又は介護福祉士として社会に貢献する志を有する優れた学生		給付奨学金	500,000円	在学中1回のみ	毎年2名	地域の制限なし	学生サービスセンター	併用可	併用可	
	入試・広報センター	KM奨学金	在学中	全年半	用途を定めない経済的支援	卒業後、国内外を問わず広く保健医療福祉及び教育・保育の専門職として社会に貢献する志を有する学業成績、人物ともに信頼のおける誠実な学生		貸与奨学金	月額 50,000円	修業年限の終期まで	毎年2名	地域の制限なし	学生サービスセンター	併用可	併用可	
	入試・広報センター	聖隷クリストファー大学入学試験成績優秀者特別奨学金	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	全年半 全年部 奨学生選抜の成績上位者(2年度以降は、継続審査あり)			免除・減免	奨学生Ⅰは授業料全額免除 奨学生Ⅱは授業料半額免除	奨学生Ⅰ・Ⅱは4年間(2年度目以降継続審査あり) 奨学生Ⅲは初年度のみ	奨学生Ⅰ 看護学部3名 リハビリテーション学部3名 社会福祉学部1名 国際教育学部1名 奨学生Ⅱ 看護学部3名 リハビリテーション学部3名 社会福祉学部2名 国際教育学部2名 奨学生Ⅲ 看護学部4名 リハビリテーション学部11名 社会福祉学部2名 国際教育学部2名	地域の制限なし	入試・広報センター	併用可	併用可	
常葉大学	学生課	学業成績優秀奨学生	在学中	学部2～4年生の学生	特待生・成績優秀者	学部2～4年生の学生のうち、人物に優れた学業成績が特に優れて、経済的支援を必要とする学生が対象です。		給付奨学金	年額30万円	修業年限の1年間、前期学費納入後一括給付する	合計70名程度	地域の制限なし	教務課	併用可	条件有り併用可	
	学生課	奨学生入試奨学生	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	奨学生入試による奨学生合格者。 奨学生A:全学部学科2～10名(合計97名)授業料2年間全額免除、審査を経てのち2年間継続。 奨学生B:全学部学科4～30名(合計245名)授業料2年間半額免除、審査を経て後2年間継続。			免除・減免	奨学生A:授業料全額免除、 奨学生B:授業料半額免除。	2年間、審査を経てのち2年間継続。	奨学生A:全学部学科2～10名(合計97名) 奨学生B:全学部学科4～30名(合計245名)	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	学生課	特別奨学生	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般入試前期日程または共通テスト利用入試前期日程の成績上位者、各30名			免除・減免	初年度納入金(授業料)が20万円減免	入学手続時	60名(一般入試前期日程または共通テスト利用入試前期日程、各30名)	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	学生課	強化指定クラブ部活動奨学生	入学手続時	入学金・授業料減免	SPOC主催入試等での入学を認められたもので、スポーツの分野で優れた成績を達成し、さらに高い目標に挑戦する者			免除・減免	入学金・授業料・施設設備費の半額免除	入学後の1年間免除する。ただし、1年間のうちに1回以上免除を取り止めることとなる。	①年間6名程度 ②人数制限なし	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
浜松学院大学	入試・広報グループ	入学時成績優等	入学手続時	特待生・成績優秀者 学費支援	給付対象とした入学試験を受験した者のうち、成績上位者。			免除・減免	給付対象とした入学試験を受験した者のうち成績上位者に10万円～40万円を給付する。	原則4年間、継続にあたっては審査基準あり。	各学年11名程度	地域の制限なし	入試・広報グループ	併用可	併用可	
		在学成績優等	在学中	特待生・成績優秀者 学費支援	3年生、4年生の学生が対象で、前年度までの学業成績の優秀者に給付する。			免除・減免	3年生、4年生のうち成績上位者に10万円～40万円を給付する。	1年間、継続にあたっては審査基準あり。	各学年11名程度	地域の制限なし	入試・広報グループ	併用可	併用可	
		経済的困難優等	入学手続時	特待生・成績優秀者 学費支援	給付対象とした入学試験を受験した者のうち成績上位者で、かつ経済的な理由により修学が困難で高校在学中に修学支援新制度の予約採用をした者、又は大学に入学した年の4月に修学支援新制度の申請をし、適用を受ける予定の者。			免除・減免	施設設備費(24万円)・教育充実費(1万円)の全額または半額給付。	原則4年間、継続にあたっては審査基準あり。	若干名	地域の制限なし	入試・広報グループ	併用可	併用可	
		資格取得支援優等	在学中	資格取得支援制度	大学が取得を奨励する資格や公務員・教員採用試験に合格した場合、奨励金を給付する。 奨励する資格や金額等は資格等によって異なるため、詳細については入学後別途説明をする。			給付奨学金	取得した資格等による。(例:実用英語検定2級 1万円、日商簿記検定2級 3万円など)	各資格・試験につき1回を上限とする。	人数制限なし	地域の制限なし	キャリア支援グループ	併用可	併用可	
		通学費・住居費助成優等	在学中	通学費・住居費助成制度	1年生～4年生	その他	通学費助成制度は1ヶ月の定額費が1万円500円以上の者(例:定額費の2分の1を助成する(月額1万円上限))、住居費助成制度は1ヶ月の家賃の2分の1を助成する(月額1万円上限)。			その他	通学費助成制度は1ヶ月の定額費が1万円500円以上の者(例:定額費の2分の1を助成する(月額1万円上限))、住居費助成制度は1ヶ月の家賃の2分の1を助成する(月額1万円上限)。	成績(GPA)等の条件を満たせば、4年間支給する。ただし、半額ごとに申請・審査を必要とする。	人数制限なし	学務グループ	併用可	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
静岡福祉大学	静岡福祉大学 学生支援課	特待生奨学金	在学中	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	①授業料の年額相当額(540,000円) 特に成績が優秀な者、前年度のGPAが最高値の者 ②授業料の年額2分の1の相当額(270,000円) 成績が優秀な者、前年度のGPAが注目が高い者	その他	①授業料の年額相当額(540,000円) ②授業料の年額2分の1の相当額(270,000円)	①1年間 ②1年間	①2～4年次の各年次ごとに、社会福祉学部 及び子ども学部の各学科ごと1名 ②2～4年次の各年次ごとに、社会福祉学部 及び子ども学部の各学科ごと1名	地域の制限なし	学生支援課	条件有りで使用可	併用可	
	静岡福祉大学 学生支援課	一般奨学金	在学中	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免
	静岡福祉大学 学生支援課	特別スカラシップ	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	①一般入試試験(前・中・後期日程)および大学入試共通テスト利用入試試験(1～7月期日程)受験者で成績が極めて優秀な者 ②総合型選抜入試試験(A・B日程)、指定校推薦入試試験(前期)、公募推薦入試試験(前期)、公募推薦入試試験合格者の中でスカラシップ 選考試験を受験し成績が極めて優秀な者 ※2年次以降については、各年次ごとに、GPA及び履修登録単位数が、別に定める基準以上であることを条件とする。	免除・減免	授業料の年額相当額(4年間:540,000円×4年=2,160,000円)	4年間	②2年次以降については、各年次ごとに、 GPA及び履修登録単位数が、別に定める基 準以上であることを条件とする。	1～4年次の各年次ごとに、若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	静岡福祉大学 学生支援課	全額スカラシップ	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	①一般入試試験(前・中・後期日程)および大学入試共通テスト利用入試試験(1～7月期日程)受験者で成績が極めて優秀な者 ②総合型選抜入試試験(A・B日程)、指定校推薦入試試験(前期)、公募推薦入試試験(前期)、公募推薦入試試験合格者の中でスカラシップ選考試験を受験し成績が特に優秀な者	免除・減免	授業料の年額相当額(540,000円)	1年間	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	若干名(1年次)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	静岡福祉大学 学生支援課	半額スカラシップ	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	①一般入試試験(前・中・後期日程)および大学入試共通テスト利用入試試験(1～7月期日程)受験者で成績が優秀な者 ②総合型選抜入試試験(A・B日程)、指定校推薦入試試験(前期)、公募推薦入試試験(前期)、公募推薦入試試験合格者の中でスカラシップ選考試験を受験し成績が特に優秀な者	免除・減免	授業料の年額2分の1相当額(270,000円)	1年間	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	若干名(1年次)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	静岡福祉大学 学生支援課	児童福祉スカラシップ	入学手続時	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	児童福祉施設や児童家で生活している社会的養護が必要なお子の中で、公募推薦入試試験(前期)の成績が社会福祉学部および子ども学部 を通じて上位2位以内の者 ※2年次以降については、各年次ごとに、通算修得単位数が別に定める基準に達しなかった場合は、当該年次は、免除しない。	免除・減免	施設設備維持費の年額相当額の4年分 (410,000円×4年=1,640,000円) 入学金準備金(300,000円)	4年間	②2年次以降については、各年次ごとに、通 算修得単位数が別に定める基準に達しな かった場合は、当該年次は、免除しない。	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
愛知大学	入試課	応急奨学金	在学中	学費支援	学費支援	学費支援	1～4年次生 ・大学に入学後、主たる家族支持者の死亡・失職・災害等によって家計が急変し、学業の継続が困難になった学生	給付奨学金	申請した学期の学費相当額	当該学期	地域の制限なし	名古屋学生課	併用可	併用可		
	入試課	学業奨励金	在学中	特待生・成績優秀者 学費支援	特待生・成績優秀者 学費支援	特待生・成績優秀者 学費支援	・2年次生以上 ・前年度に修得した科目の単位数及び成績に基づき審査を行い、学業成績が顕著に優れた学生	給付奨学金	当該年度授業料半額相当額	1年間	131名	地域の制限なし	名古屋教務課	併用可	併用可	
	入試課	愛知大学スポーツ奨学金	入学後	学費支援 課外活動支援制度	学費支援 課外活動支援制度	学費支援 課外活動支援制度	・最重点クラブの中からスポーツ特別入試に合格し、本学の選手として活躍が期待される者、または入学後、異業にスポーツに取り組み、活 躍し人柄に優れた者。	給付奨学金	①学費の年額相当額 ②学費の半額相当額	最短期修業年限1年(年度毎に継続審査有り)	地域の制限なし	名古屋学生課	併用可	併用可		
	入試課	愛知大学スカラシップ	入学手続時	特待生・成績優秀者 学費支援	特待生・成績優秀者 学費支援	特待生・成績優秀者 学費支援	1年次生 ・前期入試、M方式入試および共通テスト利用入試(前期)①科型の成績が上位者	給付奨学金	1年次の学費半額相当額	1年間	300名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	入試課	教育ローン奨励奨学金	在学中	その他	その他	その他	1～4年次生 ・日本政策金融公庫等が取り扱う教育ローンを利用して学費等(入学金を含む)を期間内に納入し、修業を継続する学生	給付奨学金	「教育ローン(借入上限200万円)の利率のうち、年利率5%相当額(5%に満たな い場合は実利率)」 ・当該教育ローン利用契約時に別途保証料を支払った場合は、10万円を限度として 採用初年度に限り給付	最短期修業年限1年(年度毎に継続審査有り)	地域の制限なし	名古屋学生課	併用可	併用可		
	入試課	外国留学に関する奨励金	在学中	留学費用支援制度	留学費用支援制度	留学費用支援制度	本学の「学生の外国留学に関する規程」に基づき留学する学生で、条件に当てはまる学生。日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派 遣)の採用学生は除く。	給付奨学金	【交換留学生】 1学期一律20万円、2学期40万円を上乗 【協定留学学生】 1学期一律5万円、2学期10万円を上乗	留学期間	地域の制限なし	国際交流課	併用可	条件有りで使用可		
	入試課	愛知大学選抜奨励金(大分県)育英奨学金	入学後	学費支援	学費支援	学費支援	・入学時に申請 ・大分県内の高等学校を卒業し、一般選抜の合格によって4年次生から入学した学生	給付奨学金 貸付奨学金	1月額5万円給付 申請により入学金、学費相当額を無利息で貸す	最短期修業年限1年(年度毎に継続審査有り)	若干名	大分県	入試課	併用可	併用可	
	入試課	育英賞(知念堂等奨学金)(入学前予約給付給付奨学金)	その他	2024年10月1日(月)～2025年1月6日(月)済 印有効	用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	・遺言附属(愛知、岐阜、三重、静岡)以外の国内中等・中等教育)学校出身者 ・高等(中等教育)学校を2025年3月卒業見込みの者またはその前年度に卒業した者 ・全体の学費相当額の定率(1/2)以上を奨学金 ・家族支持者の収入または所得金額が本学が定める金額未満の者 ・本学の一般選抜(学部)を受験し、入学する学生	給付奨学金	年額50万円	最短期修業年限1年(毎年継続審査有り)	5名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	入試課	山形県川西町・愛知大学本間第一奨学金	入学後	用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	・申請者が在学していた高校の所在地及び申請者の居住地が東北地方、愛知大学地域政策学部へ入学した学生 ・入学後の4～6月に申請	給付奨学金	年額75万円	最短期修業年限1年(年度毎に継続審査有り)	3名以内	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	入試課	(公財)愛知大学教育研究支援財団 一般給付奨学金	在学中	1～4年次生 ・学業成績優秀であり、経済的理由により修学困難と認められる学生	学費支援	学費支援	学業成績優秀であり、経済的理由により修学困難と認められる学生	給付奨学金	年額12万円	1年間	50名程度	地域の制限なし	教務課	併用可	条件有りで使用可	
	入試課	(公財)愛知大学教育研究支援財団 後援会応急奨学金	在学中	1～4年次生	学費支援	学費支援	応急奨学金の給付期間終了後も、引き続き経済的理由により学業の継続が困難と認められる学生	給付奨学金	申請した学期の学費相当額	当該学期	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可		
	入試課	(公財)愛知大学教育研究支援財団 後援会学業奨励金	在学中	2年次生以上	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	・2年次生以上 ・前年度に修得した科目の単位数及び成績が優秀な学生	給付奨学金	年額20万円 ※外国人留学生は1/2	1年間	22名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可	
	入試課	新入生公務員志願者選抜奨学金制度	在学中	1年次生	特待生・成績優秀者 就職支援	特待生・成績優秀者 就職支援	特待生・成績優秀者 就職支援	国家公務員・地方上級公務員をめざす1年次生を対象に実施する試験の受験者で、成績優秀の学生	免除・減免	対象講座受講料の無料化	対象講座受講期間	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可	
	入試課	学業奨励生公務員志願者奨学金制度	在学中	1～2年次生	学業奨励生の中で、国家公務員・地方上級公務員をめざす学生	学業奨励生の中で、国家公務員・地方上級公務員をめざす学生	学業奨励生の中で、国家公務員・地方上級公務員をめざす学生	学業奨励生の中で、国家公務員・地方上級公務員をめざす学生	免除・減免	対象講座受講料の無料化	対象講座受講期間	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可	
入試課	個別試験合格者奨学金制度	在学中	1～2年次生	宅地建物取引士、行政書士、簿記試験合格者	宅地建物取引士、行政書士、簿記試験合格者	宅地建物取引士、行政書士、簿記試験合格者	宅地建物取引士、行政書士、簿記試験合格者	免除・減免	対象講座受講料の無料化または半額で提供	対象講座受講期間	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可		
入試課	公務員試験成績TOP選抜制度	在学中	3年次生	特待生・成績優秀者 就職支援	特待生・成績優秀者 就職支援	特待生・成績優秀者 就職支援	公務員試験対策講座内で実面する選抜試験での高得点者	免除・減免	対象講座受講料の無料化	対象講座受講期間	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可		
入試課	公務員試験合格者奨励制度	在学中	卒業年度の3月	就職支援	就職支援	就職支援	本学在学中に公務員・教員採用試験に合格した学生	給付奨学金	規定額	卒業時	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可			
入試課	キャリア開発講座合格奨励制度	在学中	対象講座合格時	資格取得支援制度	資格取得支援制度	資格取得支援制度	キャリア開発講座の受講生で、受験した国家資格などの合格者	給付奨学金	試験の難易度により、1,000円～15,000円(図書カード)	対象講座合格時	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可		
入試課	愛知大学スカラシップ生公務員奨学金制度	在学中	1年次生	特待生・成績優秀者 資格取得支援制度	特待生・成績優秀者 資格取得支援制度	特待生・成績優秀者 資格取得支援制度	愛知大学スカラシップ生で国家公務員・地方上級公務員をめざす1年次生	免除・減免	対象講座受講料の無料化	対象講座受講期間	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可		
愛知医科大学	医学部学生課、看護学部学生支援課	医学部前納金減免制度	その他	前年度の成績を基に対象者を決定するた め、申請不要	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	在学中成績の優秀な者には、授業料の一部(100万円)を免除する。	免除・減免	授業料の一部(100万円)	前学期	2～6年次 各学年2名	地域の制限なし	医学部事務部学生課	併用可	併用可	
	医学部学生課、看護学部学生支援課	医学部奨学金貸付制度	その他	5月末頃まで	学費支援 就職支援	学費支援 就職支援	本学医学部に在籍する5年次以上の学生が卒業後、本学に勤務(臨床研修医及び大学院生を含む。)する場合に、年額300万円を貸与 する独自の奨学金貸付制度があります。 愛知医科大学病院において、奨学金の貸付を受けた期間の2倍に相当する期間を勤務することにより、貸付金の返還が全額免除されます。 【例】2年間貸付を受けた場合 臨床研修2年+職員勤務年間＝4年間 ※ 卒業後、本学に勤務できない場合、貸付を受けた奨学金の全額(年10%)を加重して返還することになります。	貸付奨学金	年額300万円	貸与決定の年度から本学医学部を卒業する 年度まで	若干名	地域の制限なし	医学部事務部学生課	併用可	条件有りで使用可	
	医学部学生課、看護学部学生支援課	看護学部成績優秀者学納金減免制度(新入生)	その他	入学試験の成績を基に対象者を決定するた め、申請不要	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	一般選抜試験成績上位者100名のうち学校推薦型選抜及び社会人等特別選抜合格者の奨学試験受験者を含む。)入学した者には、初年 度の教育充実費及び実験実習費を全額免除します。 ※ 学校推薦型選抜及び社会人等特別選抜の合格者は、奨学試験として一般選抜を受験することができ(受験料無料)、その成績が優秀で あった者には初年度の教育充実費及び実験実習費を全額免除します。	免除・減免	初年度教育充実費(20万円)及び実験実習費(17万円)を全額	①1年間 ②1回限り	一般選抜試験成績上位者100名のうち(学校 推薦型選抜及び社会人等特別選抜の合格者 の奨学試験受験者を含む。)入学した者	地域の制限なし	看護学部学生支援課	併用可	併用可	
	医学部学生課、看護学部学生支援課	看護学部成績優秀者学納金減免制度(在生)	その他	前年度の成績を基に対象者を決定するた め、申請不要	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	在学中成績の優秀な者には、翌年度前学期分の教育充実費及び実験実習費を全額免除します。特に優秀と認められる者については、後学 期分についても全額免除します。	免除・減免	翌年度の教育充実費(30万円)及び実験実習費(22万円)を半額又は全額	各学年10名以内(特に優秀と認められる者に ついては、10名以内)	地域の制限なし	看護学部学生支援課	併用可	併用可		
愛知学院大学	入試センター入試広報課	新入生特待生制度	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	新入生特待生制度 ・対象学年:1年次 条件を満たすことで2年次以降も給付対象 ・対象学部:全学部 ・条件:前期試験(入試共通テスト)利用試験1期に於いて、成績優秀者に対し、入学金、授業料等を減免。なお、対象試験の得点率が70%以 上という条件あり ※選考者を選定する者が対象人数より多い場合は、成績上位者から選抜	給付奨学金 免除・減免	初年度免除額125万円以上(※学部により異なる) 2年次以降 30万円給付	2年次以降は成績などの条件を満たす必要 あり	267名	地域の制限なし	入試センター入試広報課	併用可	条件有りで使用可	
	入試センター入試広報課	新入生急須奨学金	入学手続時	用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	本学への入学意図があり、入学手続きが完了しているもの、学業成績良好で、本奨学金の出願からさかのぼって過去1年以内に主たる家計 支持者に急ぎ急ぎ発生がある場合。	給付奨学金	50万円	入学時1回限り	20名を限度	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有りで使用可	
	入試センター入試広報課	応急奨学金	随時	用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	学業成績良好で出願からさかのぼって1年以内に主たる家計支持者に急ぎ急ぎ発生があるもの 当期の学納金を完納していることが条件	給付奨学金	50万円	在学期間中1回のみ	20名を限度	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有りで使用可	
	入試センター入試広報課	開学50周年記念奨学金	その他	4～7月	学費支援	学費支援	成績優秀で経済的理由により学費が困難な者 当期の学納金を完納していることが条件 採用回数は修業年限の1/2まで	免除・減免	30万円	採用回数は修業年限の1/2まで	28名	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで使用可	
	入試センター入試広報課	特待生奨学金	その他	毎年度本学にて選考	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	対象学年:2年生以上 対象学部:全学部 資格:前年度の履修単位数が32以上(4年生は26以上)、(薬学部・歯学部を除く)、学業成績がGPA3.0以上(薬学部・歯学部はGPA上位 者)。	給付奨学金	30万円	1年	各学科、在籍学生数140名未満は1名、140 名以上は2名、240名以上は3名、240名以上 は4名(ただし、薬学部・歯学部は各学年2 名)、GPA3.0以上あれば、規定数に1名追加 する。	地域の制限なし	教務課	併用可	条件有りで使用可	
	入試センター入試広報課	外国人留学生特待生奨学金	その他	本学にて選考	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	対象学年:2年生以上 対象学部:全学部 資格:外国人留学生、前年度の履修単位数が32以上(歯学部を除く)で学業成績が優秀(GPA3.0基準)、特待生に選考された者は除く。	給付奨学金	30万円	1年	各年次1名	地域の制限なし	教務課	併用可	条件有りで使用可	
	入試センター入試広報課	グローバル特待生制度	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	対象学年:入学時 対象学部:文学部 選考基準(条件):公募制推薦入試A-Bの合格者で下記資格・検定いずれかのいずれかの基準を満たしているもの。 実務(2科目1級)・TOEIC 730・TOEFL iBT 97・GRE GMAT 1280・IELTS 4.5/7.0/8.0/9.0	給付奨学金 免除・減免	初年度免除額128万円	2年次以降は条件を満たせば年額30万円給 付	併用可	条件有りで使用可				
	入試センター入試広報課	歯学部くすのき奨学金	その他	申請形式ではなく、歯学部にて入学試験(前 期試験)を利用した学生の成績順順にて選 考する。	その他	その他	1年次入学金、歯学部教育充実費及び授業料 免除額:歯学部・歯学部以外の学部 対象学年:入学時 対象学部:歯学部 条件:入学試験(前期試験)を利用した学生の中で、上位成績で入学した学生を対象とする。ただし、2年生以降のスーパー・エクスレシ ブについては前年度の成績が上位10%以内の場合には、その奨学金の給付を停止または取消しとなる。	給付奨学金	①スーパー・エクスレシ ブ1年次:年額160万円 2年次～6年次:年額185万円 合計1,485万円 ②エクスレシ ブ2年次:年額160万円 2年次以降は前年度の成績がその年度の上位15%以内の学生に対し、歯学部特待 生と同額の奨学金を支給。合計110万円。	最長6年間	①1名 ②6名	地域の制限なし	歯学部事務室	併用可	併用可	
愛知学院大学	学生募集室	学力優秀者減免制度	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	①一般選抜(前期)入試の成績上位者 ②大学入試共通テスト利用(前期)入試の成績上位者 ③2年次以降は学業成績が上位30%以内であること	免除・減免	①入学金全額(250,000円)、授業料半額減免(345,000円) 合計615,000円 ②入学金半額減免(125,000円)	地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可			
	学生募集室	県外出身者特別支援	入学手続時	用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	愛知県外から入学される方を支援(学校推薦型入試【指定校制】で入学する場合)	給付奨学金	10万円を給付	地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可			
	学生募集室	同窓生子女等特別減免制度	入学手続時	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	愛知学院大学・愛知学院短期大学に在籍または卒業した者の2等以上の親族(子女、孫、兄弟姉妹、双子)。	免除・減免	入学金全額(250,000円)	地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可			
	学生募集室	社会人減免制度	入学手続時	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	社会人入試にて合格した者	免除・減免	入学金半額減免(正規入学金250,000円より半額 125,000円)	地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可			

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他」の具体的な内容	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
愛知工業大学	広報課	選抜奨学生	入学手続時		特待生・成績優秀者	一般選抜前期日程入試A方式において成績優秀者(各専攻専業人員の5%以内)を奨学生として採用	給付奨学金	授業料相当額の50%	4年間※継続審査有	一般入試前期日程入試A方式各専攻専業人員の5%	地域の制限なし	八重キーン(S)学生サービスグループ	併用可	条件有りで併用可	
	広報課	成績優秀奨学生	在学中	2~4年次	特待生・成績優秀者	在学中で各学部・各年次・各学科・各専攻において前年度までの学業成績及び人物評価等が総合的に上位の者	給付奨学金	年額60万円	1年間	42人 各学部・各年次(1年次を除く)・各学科・各専攻1名	地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	条件有りで併用可	
	広報課	難関大会奨学生	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者	在学中で前年度までの学業成績が優秀な者	給付奨学金	年額10万円	①1年間 ②1回限り	42人 各学部・各年次(1年次を除く)・各学科・各専攻1名	地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	条件有りで併用可	
	広報課	読書サロニウム奨学金	在学中			用途を定めない経済的支援		原則として一人につき30万円以内	原則、在学期間を通して1回のみ	人数制限なし		地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	併用可
	広報課	入学奨励金	入学時			入学金・授業料減免	1年生 出父母、父母、兄弟姉妹が本学の卒業生 兄弟姉妹が本学の在学学生	給付奨学金	納入した入学金の半額	①1年間 ②1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	併用可
愛知淑徳大学	学生事務局	愛知淑徳大学学費補助特別給付奨学金	その他	学部からの推薦による	特待生・成績優秀者	学部3年生および4年生で特に学業成績が優秀な者。学部からの推薦により奨給者を決定。2年連続で奨給することも可能。	給付奨学金	年額10万円	年1回	各学部・専攻ごとに異なる(各学年次において1~4名)	地域の制限なし	学生事務局・教務事務局	併用可	併用可	
	学生事務局	愛知淑徳大学学費補助特別給付奨学金1(奨励支援)	在学中	1~4年	学費支援	学部長、主たる審判支持者の死亡、疾病、失業、破産(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。 修得単位数の条件あり。	給付奨学金	年額50万円	在学中同事由に対し1回	若干名	地域の制限なし	学生事務局・教務事務局	併用可	併用可	
	学生事務局	愛知淑徳大学学費補助特別給付奨学金1(奨励支援)	在学中	1~4年	学費支援	学部長、主たる審判支持者の地震・風水害等の被災(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。 修得単位数の条件あり。	給付奨学金	年額20万円	在学中同事由に対し1回	若干名	地域の制限なし	学生事務局・教務事務局	併用可	併用可	
	学生事務局	愛知淑徳大学学費補助特別給付奨学金2(留学生支援)漢 語交流	在学中		交換留学生・履修単位取得プログラム留 学	留学費用支援制度	給付奨学金	※15万円 乙・丙・5万円 ※留学期間により支給額が異なる。甲・乙の区分は日本学生支援機構・海外留学支 援制度の地域区分に準ずる。	在学中1回	交換留学生全員	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
	学生事務局	愛知淑徳大学学費補助特別給付奨学金2(留学生支援)留 学支援	在学中		交換留学生・履修単位取得プログラム留 学	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	給付奨学金	甲・30万円 乙・20万円 丙・10万円 【甲年度の割合】甲:15万円 乙:10万円 丙:5万円 ※留学期間により支給額が異なる。甲・乙の区分は日本学生支援機構・海外留学支 援制度の地域区分に準ずる。	在学中1回	若干名	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
愛知みずほ大学	入試広報室	奨学A制度	その他		総合型選抜および学校推薦型選抜の合格手 続者、一般選抜出願者	特待生・成績優秀者	給付奨学金	年額10万円	1年間	2~4名(学科専攻により異なる)	地域の制限なし	学生事務局・教務事務局	併用可	併用可	
	入試広報室	奨学B制度	その他		総合型選抜および学校推薦型選抜の合格手 続者、一般選抜出願者	特待生・成績優秀者	給付奨学金	1年間	若干名	条件有り	条件有り	併用可	併用可		
	入試広報室	奨学C制度	随時		在学中に家庭の事情など大きな変化が生じた場合などで、その人物・学業成績などを勘案して審査	学費支援	給付奨学金	1年間	若干名	条件有り	条件有り	併用可	併用可		
	入試広報室	奨学D制度	随時		在学中に家庭の事情など大きな変化が生じた場合などで、その人物・学業成績などを勘案して審査	学費支援	給付奨学金	1年間	若干名	条件有り	条件有り	併用可	併用可		
金城学院大学	学生生活支援センター	金城サポート奨学金	在学中	2年次以降は各学科での学業成績が上位 40%以内であれば継続給付	特待生・成績優秀者 入学・授業料減免	給付対象:合計200名 ①一般入試(前期)【2・3科目】合格者の内、成績上位者100名※1 ※1【2科目目】得点率90%以上、【音楽芸術学科】に限りは音楽実技で90%以上の者 ②7~9月一試験科目入試(前期)【合格者の内、成績上位者100名※2 ※2【科目目】得点率90%以上 ※入学金、実務実習費、諸費用については、規定通り納付が必要です。	給付奨学金	金庫料、在学期間費が50万円になる。※入学金、実務実習費、諸費用については、規 定通り納付が必要です。	修業年度まで1年毎に見直し。	一般入試(前期)100名、センター試験利用入 試(前期)100 名の200名	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	金城学院大学貸与奨学金	その他	在学中に金城学院奨励金を受給した学生が卒業年度より、現在も滞留している場合、学納金(授業料及び施設設備費)の範囲内 で貸与する奨学金です。高等教育の就学支援新制度(授業料等減免及び給付型奨学金)を受給しもしくは申請中の学生に限りです。	学費支援	貸与奨学金	学納金範囲内で貸与(無利率)	1年間	若干名	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可		
	学生生活支援センター	金城学院緊急奨学金	在学中	突発的な事情が生じた時	学費支援	突発的な事情によって経済的に修学が難しくなった学生に対し、授業料の範囲内で奨学金を給付する奨学金です。高等教育の就学支援新 制度(授業料等減免及び給付型奨学金 家計急変採用)を受給しもしくは申請中の学生に限りです。	給付奨学金	授業料の範囲内で奨学金を給付	1年間	若干名	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	金城学院みどり野舎奨学金	在学中	突発的な経済的事象が生じた時	学費支援	突発的な経済的事象で修学が難しくなった学生	給付奨学金 貸与奨学金	給付奨学金は、金城学院緊急奨学金受給者に対し、施設設備費範囲内で支給 学納金相当額以内で貸与(無利率)	1年間	若干名	地域の制限なし	みどり野舎	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	金城学院大学父母会奨学金	在学中	対象者に大学より連絡	学費支援	金城学院大学貸与奨学金受給者のうち、学業優秀な学生3名まで対象。	給付奨学金	年額上限60万円の奨学金を給付(貸与奨学金の内、貸与金額以内)	在学中に一度のみ(卒業年度生対象)	3名まで	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	学生生活支援センター	金城学院スライム奨学金	在学中		学費支援	学力・人物ともに優秀なキリスト教又は派遣者の学生	給付奨学金	授業料の範囲内で奨学金を給付	地域の制限なし	キリスト教センター	併用可	併用可			
	学生生活支援センター	金城学院大学海外留学生奨学金	在学中	海外留学者時	留学費用支援制度	留学者(交換・派遣・認定)に認定された者	給付奨学金	最大30万円の奨学金を給付(金額は留学者先大学の地域によって異なる)	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可			
	学生生活支援センター	西田スズ子留學奨学金	在学中	海外留学者時	留学費用支援制度	所定基準を満たした海外留学者とする本学生	給付奨学金	奨学金を給付する制度	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可			
	福山女子学園大学	学務部 学生課	福山女子学園大学貸与奨学金	在学中	1~4年	学費支援	全学部全学年	貸与奨学金	1年間の授業料、教育充実費、学部教務員の合計額を限度	半年	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
		学務部 学生課	福山女子学園大学同窓会奨学金	在学中	1年生	学費支援	全学部1年、経済的な理由で修学困難な者。	給付奨学金	年額30万円	1年	2名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
学務部 学生課		福山女子学園同窓会奨学金	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	全学部2年以上の学生で学力・人物ともに優秀な者。	給付奨学金	年額20万円	1年	5人	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
学務部 学生課		学校法人福山女子学園同窓会奨励金	入学時		学費支援	学部1年で、同窓会特別推薦入試により入学した者。	給付奨学金	年額10万円	1年	5名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
学務部 学生課		福山女子学園大学看護学部奨学金A	在学中	1年生~4年生	特待生・成績優秀者	看護学部の学生で、一般入試の成績が優秀である者。給付期間は最長4年。2年次以降も継続して給付を受けるためには、前年度の学校 成績が看護学部内で上位であること。	給付奨学金	年額60万円	1年	各学部8名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
学務部 学生課		福山女子学園大学看護学部奨学金B	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者	看護学部2~4年、前年度の学業成績が優秀である者。	給付奨学金	年額36万円	1年	各学部6名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
学務部 学生課		福山女子学園大学石間奨学金	在学中	4年生	学費支援	卒業見込み資格を取得した4年生で、経済的理由により修学の意思を有しながら修学困難な者。	給付奨学金	年額40万円	1年	1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
学務部 学生課		福山女子学園大学教育ローン科科補給奨学金	その他	前期3月、後期1月	その他	学費支弁者の財政的負担軽減	給付奨学金	福山女子学園大学教育ローンの在学期間中の科子30%または100%相当額	半年	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
学務部 学生課		福山女子学園大学奨励員【学業優秀賞】	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者	全学部2~4年、前年度の成績優秀者	給付奨学金	10,000円	1年	各学年・学科の上位5%	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
学務部 学生課		福山女子学園大学奨励員【特別活動奨励賞】	在学中	1年生~4年生	課外活動支援制度	全学部全学年、原則として各学部1名	給付奨学金	5万円	1年	7名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
学務部 学生課		福山女子学園大学奨励員【海外留学者奨学金】	在学中	1年生~4年生	留学費用支援制度	前学期までのGPAが2.0以上の者で、次の各号のいずれかで当該年度中に滞在中の学生。 ①派遣交換留学者 ②派遣留学者 ③留学期間が6か月以上の認定留学者 ④留学期間が6か月以上の学部と海外の大学等の協定による研修留学者	給付奨学金	年額10万円	7月	25名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
大岡大学		学生室	大岡大学一般貸与奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援	経済的理由により修学困難のため、奨学金の貸与が必要であると認められる者で、日本学生支援機構又はその協議団体の奨学生でない 者。なお選考については、申請書類、成績等を参考にし、行い、日本学生支援機構奨学生推薦基準を参照する。	貸与奨学金	月額3万円(無利率)を貸与。	採用時から最長修業年限	特になし	地域の制限なし	学生室	併用不可	併用不可
		学生室	大岡大学緊急時貸与奨学金	その他		学納金延納期間中	経済的理由により修学困難のため、奨学金の貸与が必要であると認められ、学生納付金の延長が許可されている者で、かつ日本学生支援 機構又は大岡大学が紹介する教育ローン制度に申請した者うち、学生納付金の延長期間までに納付できないことが見込まれる者。	貸与奨学金	授業料及び施設協力費の年額の2分の1相当額(無利率)を貸与。	在籍期間中1学期限り	特になし	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可
		学生室	大岡大学学業奨励生	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者	2年次以上の学部生で、学業、人物、健康ともに優れ、他の学生の模範とするに足る者の内、前年度の学業成績が各学科上位1割以内の学 生を対象とする。	給付奨学金	1万円相当の図書カードを支給。	年1回	各学科上位1割以内	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可
		学生室	大岡大学入学時特別奨学生<第一種>	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1)1方式入試試験、前期入試試験又は大学入学共通テスト利用前期入試試験において、特に優秀な成績であること 2)学力が優秀であること 3)心身ともに健康であること	免除・減免	年間の学生納付金の全額を免除。	入学年度から最長修業年限 ただし、別途取消の要あり	成績優秀者50名程度を採用予定	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可
	学生室	大岡大学入学時特別奨学生<第二種>	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1)1方式入試試験、前期入試試験又は大学入学共通テスト利用前期入試試験において、特に優秀な成績であること 2)学力が優秀であること 3)心身ともに健康であること	免除・減免	年間の学生納付金の60%を免除。	入学年度から最長修業年限 ただし、別途取消の要あり	成績優秀者50名程度を採用予定	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	学生室	総合型選抜・推薦系入学時特別奨学生<第一種>	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1)高等学校在学時(3年:1学期・前期時点)における資格取得が特に優秀な者。 もしくは、学業成績が優秀な者で本学が実施する総合型選抜および推薦系入試試験による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	入学金の全額を給付	入学時		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	学生室	総合型選抜・推薦系入学時特別奨学生<第二種>	入学手続時		入学金・授業料減免	1)高等学校在学時(3年:1学期・前期時点)における資格取得が特に優秀な者。 もしくは、学業成績が優秀な者で本学が実施する総合型選抜および推薦系入試試験による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	入学金の半額を給付。	入学時	①年間10名程度 ②人数制限なし	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	学生室	入学時スポーツ特別奨学生<第一種>	学校出願時		用途を定めない経済的支援	1)高等学校におけるスポーツ競技者が特に優秀であり、かつ学業成績優秀で本学が実施するクラブ推薦入試試験による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	年額60万円を給付。	入学時から最長修業年限 ただし、別途取消の要あり		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	学生室	入学時スポーツ特別奨学生<第二種>	学校出願時		入学金・授業料減免	1)高等学校におけるスポーツ競技者が特に優秀であり、かつ学業成績優秀で本学が実施するクラブ推薦入試試験による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	入学金を給付。	入学時		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	学生室	大岡大学在学スポーツ特別奨学生	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者	2年次、3年次及び4年次に在学する学生で、学業、人物に優れ、他の学生の模範となる者の内、前年度の学業成績が各学科上位の優秀 な学生を審査によって採用する。	給付奨学金	年額12万円を給付。	年1回		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	学生室	大岡大学在学スポーツ特別奨学生	入学手続時		特待生・成績優秀者	入学後にスポーツ競技成績が特に優秀かつ学業に意欲があり、クラブの顧問及び監督に推薦され、人物に優れ、他の学生の模範となる者。	給付奨学金	年額22万円を給付。	採用年度から最長修業年限		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	中京大学	学生支援課、入試センター	入試成績優秀者給付奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者	全学部における一般選抜前期日程A方式(3教科型)の合格者 ※2年目以降の支給資格の継続については毎年審査	給付奨学金	入学金・授業料・教育充実費の全額 400万円以上 ※学部によって金額は異なる ※4年間の給付の事	最大4年間	212人	地域の制限なし	入試センター	併用可	条件有り
学生支援課、入試センター		南村学園100周年記念留學給付奨学金	学校出願時		留学費用支援制度	全学部・全入試においてCEFR B2(実用英語技能検定準・総合型)以上の英語の資格・検定試験スコアを有する合格者 給付対象として認定大学の留學プログラム(留學)に入学した者(入学)に入学した者	給付奨学金	100万円 ※留学期間から帰国後に給付	給付回数1回	30名	地域の制限なし	入試センター	併用可	条件有り	
学生支援課、入試センター		南村学園100周年記念ひとり暮らし給付奨学金	学校出願時		学費支援	①進路相談(進学・転学・卒業・特別)以外の日本の高等専門学校・中等教育学校出身者であること ②通達制度等学校出身者および卒業認定者は対象外 ③申請書の提出者が進路4年(在学中)に在籍していること ④一般選抜前期日程共通テスト利用方式(4科目)【5科目】合格者であること	給付奨学金	1年次学期授業料・教育充実費の全額 90万円以上 ※学部によって金額は異なる	給付回数1回	100名	地域の制限なし	入試センター	併用可	条件有り	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在中」 「その他の具体的な内容」	(3)支援の種類	(4)「その他の具体的な内容」	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
京学館大学	学務課 学生支援部門	京学館大学学業特待生	その他	該会者に対し大学から案内するため、学生からの申請は不可	特待生・成績優秀者		給付奨学金	授業料の1/4に相当する額	当該年度限り	各学科・学年(第2学年以上)の入学定員2% (編入入学定員を除く)	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	条件有りで併用可	併用可	
	学務課 学生支援部門	京学館大学スポーツ特待生	その他	新入学生は当該時、在学生は1月中旬	課外活動支援制度	スポーツ競技で基準以上の成績を修めた者。また、強化指定クラブの部長の推薦を受けた者。	給付奨学金	入学金、年間の授業料及び教育充実費の相当額を上乗せする額	当該年度限り	予算額の範囲内	地域の制限なし	学務課 スポーツ振興部門	条件有りで併用可	併用可	
	学務課 学生支援部門	京学館大学教育ローン利補給奨学金(給付型)	在学中	1年次生～4年次生の毎年11月	学費支援	本学の指定教育ローンを利用し、学費を完結した学生。(留学生を含む)	給付奨学金	申請年度に支払う料子の合計額(上限5万円)	当該年度限り	予算額の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	学務課 学生支援部門	京学館大学修学支援奨学金(給付型)	在学中	1年次生～4年次生の毎年10月	学費支援 用途を定めない経済的支援	経済的理由により修学(修学)が困難であり、日本学生支援機構奨学金、国の教育ローン及び本学が提供する団体の教育ローンのいずれかを判断している者。また、所定の成績基準及び資料の経済基準を満たす者。大学院生、社会人学生及び外国人留学生は除く。	給付奨学金	授業料相当額の4分の1	当該年度限り	予算額の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	学務課 学生支援部門	京学館大学修学支援奨学金(貸付型)	在学中	卒業年度の月又は10月	学費支援	修学意欲が旺盛であるが、家庭の経済事情の急変等により、修学の継続が困難に陥った者であり、卒業が見込まれている者。卒業年度の月、大学院生、社会人学生及び外国人留学生は除く。	貸付奨学金	年間の授業料及び教育充実費相当額を上乗せする額	当該年度限り	予算額の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	学務課 学生支援部門	京学館大学夢・チャレンジ奨励金	在学中	1年次～4年次生の毎年5月	資格取得支援制度 研究奨励金 留学費用支援制度 課外活動支援制度 その他	学芸、スポーツ、地域貢献等の様々な分野で、将来に向けて目標を明確にもち、その夢の実現をめざしてチャレンジしようとする学生及びその団体。	給付奨学金	上限額200万円	奨励対象者あたり1回のみ	予算額の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	学務課 学生支援部門	京学館大学 教育後援会寄附金	随時	その他	その他	保護者(大学院及び専攻科を除く)が京学館大学・京学館大学短期大学部教育後援会の会員であり、万が一のご不幸があった場合。	給付奨学金	5万円			地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	学務課 学生支援部門	私費外国人留学生授業料減免	入学手続時		学費支援	本学に在籍する留学生(出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)別表第一に定める在留資格「留学」に該当する者)全員を対象とする。	免除・減免	授業料の3割	当該年度限り	予算額の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	中部大学	学生支援課	中部大学賞奨励学生	在学中	2～4年	特待生・成績優秀者		給付奨学金	年額150,000円	1年	100名程度	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可
学生支援課		中部大学スポーツ・文化活動奨励学生	在学中	2～4年	課外活動支援制度	学部2年次以上、スポーツ及び文化活動等で優れた成績を上げた者 留学生は他の奨学金との併用で併用できないことがあります。	給付奨学金	年額100,000円単位で学費相当額まで	1年	20名以内	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
学生支援課		中部大学同窓会賞奨励学生	在学中	2～4年	特待生・成績優秀者	学部2年次以上、学業、人物ともに優れている者 当年度末、本学の他の給付奨学金に該当した場合は出願できません。 ただし、中部大学海外留学・研修奨学金と併用で併用できないことがあります。	給付奨学金	年額100,000円	1年	200名以内	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
学生支援課		中部大学賞奨励学生	在学中	1年～4年	学費支援	家族が急変し、学費の支弁が困難になった者。 本学の他の奨学金(他賞励賞奨励学生は除く)に該当している人、外国人留学生は出願できません。	貸付奨学金	年額100,000円以上、100,000円単位で学費相当額まで	1年	各学期内、ただし、継続して出願はできるが、貸付期間は原則通算2年(4学期)を超えないことによる。	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
学生支援課		中部大学特別賞奨励学生	在学中	3年～4年	用途を定めない経済的支援	学部3年次以上、本学大学院進学希望者で、当該学部において成績が上位15%以内の者。 中部大学特別賞奨励学生は出願できません。	貸付奨学金	年額300,000円(本学大学院生前期課程を修了し、修士の学位を取得した場合は、奨学金の返還を免除)	1年	50名以内	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
学生支援課		中部大学教育振興賞奨励学生	在学中	4年生	用途を定めない経済的支援	学部4年次に在学し、おこなった卒業論文の発表等による学業の向上等によって経済上支弁が困難となった、人物に優れた者。 外国人留学生は出願できません。	貸付奨学金	年額300,000円(本学を修了し、修士の学位を取得した場合は、奨学金の返還を免除)	1年	15名	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
学生支援課		中部大学特別奨励学生	学校出願時		特待生・成績優秀者	「特別奨励生入試で選抜された者」 「人学賞、各学年末の成績優秀者」を選出した場合、次年度も奨学金を継続	給付奨学金 免除・減免	入学料および学費(授業料、施設設備費、教育充実費)	最大4年間	約100人(昨年度実績)	地域の制限なし	入学センター	併用可	条件有りで併用可	
学生支援課		中部大学同窓会リーダー育成 地域連携在籍人啓蒙育成奨励金	在学中	1年次学期～4年	用途を定めない経済的支援	高麗キニョータウン内の地域連携施設に在籍し、一定の条件を満たした者 ※中部大学同窓会リーダー育成 一人暮らし応援奨励金の併用は認めない。	給付奨学金	年額60,000円	1年	特に定めのないものとする。ただし、予算の範囲内とする。	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
学生支援課		中部大学同窓会リーダー育成 一人暮らし応援奨励金	在学中	1年次学期～4年	用途を定めない経済的支援	実家が遠方であり、帰省に難し、春休みに3ヶ月以上継続して一人暮らしをしている本学留学生 ※中部大学同窓会リーダー育成 地域連携在籍人啓蒙育成奨励金との併用は認めない。外国人留学生は出願できない。	給付奨学金	年額60,000円	1年	特に定めのないものとする。ただし、予算の範囲内とする。	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
学生支援課		中部大学海外留学・研修奨励金	在学中	1～4年	留学費用支援制度	①海外派遣留学奨励金 対象学年: 全学年、学部: 全学部 資格・条件: 1. 選考時点でのGPAが3.0以上又は学部の成績順位が上位20%以内の者 2. 派遣時まで「派遣先大学が求める語学水準の達成が望める者」 3. 留学後、留学フェアなど本学の国際交流行事に協力できる者 ②海外長期研修奨励金 対象学年: 全学年、学部: 全学部 資格・条件: 1. 選考時点でのGPAが2.5以上又は学部の成績順位が上位25%以内の者 2. 研修参加後、留学フェアなど本学の国際交流行事に協力できる者 ③海外短期研修奨励金 対象学年: 全学年(1年次次生を除く(2対象外))、学部: 全学部 資格・条件: 1. 選考時点でのGPAが3.0以上又は学部の成績順位が上位20%以内の者 2. 研修参加後、留学フェアなど本学の国際交流行事に協力できる者 ④大学院進学希望者短期研修奨励金 対象学年: 4年生(大学院進学希望者)、学部: 全学部 資格・条件: 1. 本学の学部4年次から本学の大学院修士課程又は博士前期課程に進学する者 2. 選考時点での成績が別に定められた基準を満たしている者 3. 研修参加後、本学の修士課程又は博士前期課程に在学する間、英語学習を継続できる者 (外国人講師による英語授業の受講など) 4. 研修参加後、留学フェアなど本学の国際交流行事に協力できる者	給付奨学金	①海外派遣留学奨励金 月額0～8万円、日本学生支援機構の短期派遣奨学金地域基準に準拠。 ②海外長期研修奨励金 1回につき10万円 ③海外短期研修奨励金 1回につき10万円 ④大学院進学希望者短期研修奨励金 1回につき20万円 なお、日本学生支援機構の海外留学支援制度の受給を希望する場合は、海外派遣留学奨励金、海外長期研修奨励金又は海外短期研修奨励金を支給しない。ただし、海外派遣留学奨励金と海外短期研修奨励金では、支給額によって加給奨学金を支給する場合がある。	①海外派遣留学奨励金 上限なし ②海外長期研修奨励金 1回につき10万円 ③海外短期研修奨励金 1回につき10万円 ④大学院進学希望者短期研修奨励金 1回につき20万円	①海外派遣留学奨励金 4ヶ月か8ヶ月 ②海外長期研修奨励金 1回につき10万円 ③海外短期研修奨励金 1回につき10万円 ④大学院進学希望者短期研修奨励金 1回につき20万円	①海外派遣留学奨励金 上限なし ②海外長期研修奨励金 1回につき10万円 ③海外短期研修奨励金 1回につき10万円 ④大学院進学希望者短期研修奨励金 1回につき20万円	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可
学生支援課		中部大学選抜奨励学生	学校出願時		特待生・成績優秀者	「前期入試」方式で選抜された者 「人学賞、各学年末の成績優秀者」を選出した場合、次年度も奨学金を継続	給付奨学金 免除・減免	1) 入学料および学費(授業料、施設設備費、教育充実費) 2) 2年次以降は年間の学費(授業料、施設設備費、教育充実費)から50万円を差し引いた額	最大4年間	前期入試方式募集人員の1/3(昨年度実績: 18人)	地域の制限なし	入学センター	併用可	条件有りで併用可	
東海学園大学		入試課	学力優秀者奨励金(一般入試・共通テスト・利用入試)	入学手続時		入学金・授業料減免	一般入試(前期)・共通テスト・利用入試(前期)合格者の学力上位者。	給付奨学金	給付額は入試結果によって 年間100万円、50万円、25万円の3段階	4年間 併用し、年度末に次年度継続に向けての審査あり	候補者人数は年度ごとに全学で原則100名以内	地域の制限なし	入試課及び学生支援課	併用可	条件有りで併用可
	入試課	学力優秀者奨励金(公募推薦入試)	入学後		入学金・授業料減免	公募推薦入試(前期)合格者の上位者で人物・学力ともに優れた者。	免除・減免	入学金(250,000円)	1回限り	若干名	地域の制限なし	入試広報課及び学生支援課	併用可	併用可	
	入試課	スポーツ特別奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免	アスリート推薦入試で選抜、指定競技種目(クラブ)の高校生時代の活躍(実績)を評価。	免除・減免	規程(入学金及び授業料、教育運営費相当額など)	規程による		地域の制限なし	入試広報課及びスポーツ・文化振興室	併用可	条件有りで併用可	
	入試課	東海学園大学卒業生奨励金	入学後		学費支援	東海学園大学・東海学園女子短期大学(東海学園大学短期大学部)を卒業し、再度本学に入学する者。	給付奨学金	入学金相当額(250,000円)	1回限り	申請者すべて	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	入試課	東海学園同窓生子女奨励金	入学後		学費支援	東海中学校・東海高校・東海学園高校(東海女子高校)・東海学園大学・東海学園女子短期大学(東海学園大学短期大学部)卒業生の子女。	給付奨学金	入学金相当額(250,000円)	1回限り	申請者すべて	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	入試課	東海学園短期大学部、東海学園女子短期大学の卒業生の子女、東海学園同窓生子女奨励金と重ねて支給が可能。	入学後		学費支援	東海学園短期大学部、東海学園女子短期大学の卒業生の子女。 東海学園同窓生子女奨励金と重ねて支給が可能。	給付奨学金	100,000円	1回限り	申請者すべて	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	入試課	兄弟姉妹奨励金	その他		学費支援	家計を同一にする兄弟姉妹が本学に入学し、同時に在学する場合、2人目の入学。または、同時に兄弟姉妹が入学する場合のいずれか1名。	給付奨学金	2人目入学金相当額(250,000円、入学年度のみ) 1人目卒業まで、2人目授業料相当額(170,000円)	毎学期	申請者すべて(日本学生支援機構(JASSO)給付奨学金併用後除く)	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りで併用可	
	入試課	学業優秀者奨励金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	各学部全学年(1年生を除く) 前年度までの成績と課外活動により、選考委員会推薦(若干名)	給付奨学金	120,000円	年度内で1回	若干名(各学部学年人数の15%以内)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
	入試課	特別奨励金	その他		課外活動支援制度	(3)における該当者がいる場合に推薦者に1人1申請	給付奨学金	実額に相当する奨学金を支給	1回限り	該当者がいる場合	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	入試課	留学プログラム奨励金	在学中	1～4年生	留学費用支援制度	本学留学プログラム等に参加、修了し、一定の成績を修めた者。	給付奨学金	長期留学: 30万円 短期留学: 各学期10名程度に10万円支給 ※英語検定試験の結果により、別途奨学金加算支給	留学につき1回	留学プログラムを修了し一定の成績を修めた者	地域の制限なし	国際交流委員会	併用可	併用可	
	入試課	科目補給奨励金	在学中	1～4年生	学費支援	経済的な理由により本学と提携する機関の「学費サポートプラン」制度の利用者。 該当者(申請者)を学内選考。	給付奨学金	当該年度分の科目相当額以内	年度内で1回	「学費サポートプラン」制度の利用者のうち申請し学内選考を通過した者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
入試課	東海学園大学教育後援会賞奨励金	在学中	1～4年生	学費支援	在学中に、学費支弁の補助が必要と認められる学生で、人物・学業共に優れた、修学継続の意欲がある者。 保護者らが教育後援会会員であること。	給付奨学金	1種: 10万円 2種: 申請年度の授業料相当額の3分の1	年度内で1回	1種: 40名程度 2種: 10名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可		
豊田工科大学	学生部 学生グループ	豊田奨励金 貸付奨学金	在学中	新入生は入学手続時 2年生～4年生は在学中に申請の機会あり	用途を定めない経済的支援	「本学に在籍する全学生で、学業の修進を必要とする者」 「本学で奨励した標準水準をクリアし、JASSO奨学金等の収入を兼ねた額を限度として6万、4万、2万ノミを貸与。	貸付奨学金	月額約3万円、4万円、2万円。	修業年限(最大4年間)	人数制限なし	地域の制限なし	学生部 学生グループ	併用可	併用可	
	名古屋外国語大学	学生課	課外活動・社会貢献活動等における優秀学生奨励金	在学中	1年生～4年生	その他	課外活動・社会貢献活動等において著しく優秀な実績を挙げた学生が対象。	給付奨学金	実績・成績等に応じた(上限30万円まで)	1年間	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
学生課	成績優秀学生奨励金	在学中	1年生～3年生	特待生・成績優秀者 学費支援	1年～3年生の全学部全学科の学生を対象(4年生を除く)。 各学科において数学期間の成績優秀者とする。	給付奨学金	10万円	1回限り	①1回限り ②1回限り	年間12名(各学部ごと)に人数を定める	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
学生課	特別優秀学生奨励金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	2年生～4年生の全学部全学科の学生を対象。 各学科又は学生厚生委員会の推薦に基づき選考委員会の承認を得るものとする。	給付奨学金	当該年度の授業料相当額	1回限り	1名	地域の制限なし	学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可		
学生課	緊急経済支援(授業料減免)制度	在学中	1年生～4年生	入学金・授業料減免	1年～4年生までの全学部全学科の学生が対象。 本学が定める所定基準、成績優秀、家計急変の証明、日本学生支援機構の給付奨学金への申請、本学における審査が条件となる。	免除・減免	半額授業料の2分の1の相当		①原則年度内1回 2在学中2回まで	若干名	地域の制限なし	学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
学生課	海外留学奨励金	その他		留学費用支援制度	留学を許可された者	給付奨学金	留学制度や派遣先国(地域含む)によって異なる		1年～2年間	原則、制限はないが留学年度によって異なる	地域の制限なし	国際交流部	併用可	併用可	
学生課	同窓会奨励金	在学中	2年生～4年生	用途を定めない経済的支援	2～4年生全学部対象 学業(学費充当を含む)や文化芸術事業、スポーツ活動等、学生がやりたいことを支援するため、その活動の実現が経済的に困難な者が対象	給付奨学金	ひとり最大15万円	①年間 ②1回限り	最大5名	地域の制限なし	名古屋外国語大学同窓会	併用可	併用可		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種別	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
名古屋経済大学	学務部学生支援担当	学業成績優秀者奨学金	在学中	1年生～3年生 各学年度末	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		各学部・各学科1年次から3年次の学業成績優秀者(1位から3位)まで、GPA3.0以上の学生	免除・減免	1位20万円、2位10万円、3位5万円	年に一度、ただし対象になれば、翌年度以降も支給される。	45名	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用可	条件有り併用可
	学務部学生支援担当	学術・文化・スポーツ等優秀者奨学金	在学中	1年生～3年生	課外活動支援制度		1～3年生のうち、学術・文化・スポーツに係る優れた業績を挙げた団体あるいは個人。	給付奨学金	1～50万円の範囲で、内容によって異なる。	一回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用可	併用可
	学務部学生支援担当	資格取得・検定合格者奨学金	その他		資格取得支援制度		在学中に指定する資格及び検定試験に合格した者	給付奨学金	それぞれ資格、取得額によって異なる	なし	なし	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可
	学務部学生支援担当	入学試験成績優秀者奨学金	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		総合型選抜(学力型)試験で高得点を収めて入学した者。 留学生の特選を2年次以降も継続するには、学部・学科で定める要件をすべて満たすことが必要。 継続要件は以下の通り。 ※経済学部・経営学部・法学部・人間生活学部管理栄養学科 (1)修得単位数 ①1年次終了時に30単位以上取得していること ②2年次終了時に累積で60単位以上取得していること ③3年次終了時に累積で90単位以上取得していること ※人間生活学部教育保育学科 (1)修得単位数 ①1年次終了時に40単位以上取得していること ②2年次終了時に累積で74単位以上取得していること ③3年次終了時に累積で108単位以上取得していること (2)各年度末のGPAが2.5以上であること (3)優秀者もしくは小学校教諭になるための免許・資格を取得見込であること。	免除・減免	4年間の学納金のうち約140万円、ただし継続には条件がある。	条件を満たせば継続される。	なし	地域の制限なし	広報センター、学務部 学生支援担当	併用可	併用可
	学務部学生支援担当	入学試験成績優秀者奨学金	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		一般選抜(一般入試)前期、もしくは一般選抜(再選考)利用入試)で高得点を収めて入学した者。 留学生の特選を2年次以降も継続するには、学部・学科で定める要件をすべて満たすことが必要。 継続要件は以下の通り。 ※経済学部・経営学部・法学部・人間生活学部管理栄養学科 (1)修得単位数 ①1年次終了時に30単位以上取得していること ②2年次終了時に累積で60単位以上取得していること ③3年次終了時に累積で90単位以上取得していること (2)各年度末のGPAが2.5以上であること (3)優秀者もしくは小学校教諭になるための免許・資格を取得見込であること。	免除・減免	4年間の学納金のうち約120万円、ただし継続には条件がある。	条件を満たせば継続される。	なし	地域の制限なし	広報センター、学務部 学生支援担当	併用可	併用可
	学務部学生支援担当	入学金特別還付・進路特別入学金還付	入学後		入学金・授業料減免 その他	入学金還付	入学金特別還付(卒業生の子弟)：名古屋経済大学・名古屋経済大学短期大学部卒業生の子、兄弟・姉妹、在学生の兄弟・姉妹、及び卒園園の中学・高校の卒業生の子弟。 進路特別入学金還付：本学が指定する地域に生活基盤(父母と世帯をともにする等)があり、指定地域の高校を2022年3月卒業見込みの者。専ら又は専業主業、対象地域は、北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県。	その他	入学後の手続きにより入学金還付	入学後の申請1回限り	制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用可	併用可
	学務部学生支援担当	スポーツ入試入学者特別制度	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 課外活動支援制度		スポーツ入試のセッションで選ばれる方、競技能力により学費減免制度あり。なお、2年次以降の減免措置継続には、当該クラブ活動の参加状況が良好であること、以下の単位数を取得する等、一定の条件が必要。 1年次終了時：30単位以上 2年次終了時：64単位以上 3年次終了時：100単位以上	免除・減免	競技能力により減免額は異なる。	条件を満たせば継続される。	人数による制限はない。	地域の制限なし	広報センター、学務部 学生支援担当	併用可	併用可
学務部学生支援担当	未来支援基金制度	在学中	1年生～3年生	学費支援		1年次修得分から申請可能。 取得単位数、GPAなどその他の要件が決まられている。	免除・減免	授業料相当額免除	半額ごとに申請、在学中には限まで	人数制限はない	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用不可	併用可	
名古屋芸術大学	広報部	入学特待制度A	入学手続き時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		下記の免納結果において、極めて優秀な成績をおさめて合格した者のうち、当該学部長が推薦し、学長が認めた者 ※入学初年度の授業料、教育充実費および施設設備費を全額免除 <芸術学部> ① 芸術学部芸術学科各領域の一般選抜(一般入試試験)期 ② 特別選抜(芸術学部エキスパート入試試験) ③ 特別選抜(プロフェッショナルアーティスト入試試験) ④ ①～③以外で、実技または自己の作品やポートフォリオのプレゼンテーションを併用する芸術学科の入学試験 <教育学部> ① 教育学部子ども学科で実施された入学試験	免除・減免	入学初年度の授業料、教育充実費および施設設備費を全額免除※ ※名古屋芸術大学の特待生規定(第7条(特待生の資格失効))に該当する場合は特待生の適用が取り消されることがあります。	入学初年度のみ※	6名以内 <教育学部> 若干名	地域の制限なし	広報部 学生募集チーム	併用可	併用可
	広報部	名古屋芸術大学 学費減免制度	入学後		学費支援		【対象】 第2学年以上の在学生 1 額は0.1～0.7以内及び 2 額は2.0～0.7以内 【資格】 経済的理由により修学援助を必要とする学生で、学業成績、人物ともに優れた者	免除・減免	当該学年の授業料の2分の1額(1 額は4分の1額(2 日額)を免除)	毎年度申請が可能	若干名	地域の制限なし	学務部 学生支援チーム	併用可	併用可
	広報部	名古屋自由学院 緊急奨学金制度	その他		入学金・授業料減免		【対象】 正規課程に在学するすべての学生 【資格】 経済的急変(死亡、重病、被災など)により学費支弁が困難になった学生	免除・減免	当該学年の授業料の2分の1	1学生1回限り	制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援チーム	併用可	併用可
	広報部	名古屋芸術大学 兄弟姉妹学費減免制度	入学後		入学金・授業料減免		【対象】 正規課程に在学する兄弟姉妹の学生のうち、最も高い授業料の1人 (名古屋芸術大学学費減免)、「社会人学生学費減免」、「名古屋芸術大学卒業年度における留年学生の授業料減額制度」を承認されていないことに限る。 【申請】 兄弟姉妹学費減免申請書、兄弟姉妹の在学証明書、戸籍簿本を学生支援チームへ提出する。 返学又は休学をした場合、減免を取り消し、当該年度分を納入しなければならない。	免除・減免	当該学年の授業料の2分の1	当該学年	制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援チーム	併用可	併用不可
	広報部	名古屋芸術大学 入学金免除 奨学金制度 (1)大学院等の修了生又は卒業生の父、母、子	入学後		入学金・授業料減免		【対象】 大学院等の修了生又は卒業生の父、母、子 【手続き】 親子入学金免除奨学金申請書に戸籍簿本を添付し、期日までに学生支援チームへ提出する。	免除・減免	入学手続き時に納入した入学金	入学年度のみ	制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援チーム	併用可	併用可
	広報部	名古屋芸術大学 入学金免除奨学金制度 (2)名古屋音楽学校修了生	入学後		入学金・授業料減免		【対象】 名古屋音楽学校の専攻コース又は特別研究コースに原則として大学院等の入学年度前5年以内に通算1年以上在籍した修了生 【手続き】 名古屋音楽学校修了生に係る名古屋芸術大学入学金免除奨学金申請書)及び修了証明書を添付し、期日までに学生支援チームへ提出する。	免除・減免	入学手続き時に納入した入学金	入学年度のみ	制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援チーム	併用可	併用可
	広報部	名古屋芸術大学 入学金免除奨学金制度 (3)生涯学習修了生	入学後		入学金・授業料減免		【対象】 名古屋芸術大学生涯学習修了生で学長が認めた者 【手続き】 名古屋芸術大学生涯学習修了生に係る入学金免除奨学金申請書)及び修了証明書を添付し、期日までに学生支援チームへ提出する。	免除・減免	入学手続き時に納入した入学金	入学年度のみ	制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援チーム	併用可	併用可
	広報部	名古屋芸術大学 卒業年度における留年学生の授業料減額制度	在学中	4年生	入学金・授業料減免		【対象】 留年学生で卒業年度当初において卒業に必要な単位が10単位以内の学生 【手続き】 留年認定後「授業料減額申請書」を学生支援チームへ提出する。	免除・減免	当該学期授業料の2分の1	卒業年度	制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援チーム	併用可	併用可
	広報部	入学特待制度S	入学手続き時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		下記の免納結果において、極めて優秀な成績をおさめて合格した者のうち、他の学生の模範となる者である当該学部長が推薦し、学長が認めた者 ※最大4年間の授業料、教育充実費および施設設備費を全額免除 <芸術学部> ① 特別選抜(芸術学部エキスパート入試試験) ② 特別選抜(芸術学部エキスパート入試試験) ③ ①、②以外で、実技または自己の作品やポートフォリオのプレゼンテーションを併用する芸術学科の入学試験 <教育学部> ① 教育学部子ども学科で実施された入学試験	免除・減免	最大4年間の授業料、教育充実費および施設設備費を全額免除※ ※名古屋芸術大学の特待生規定(第7条(特待生の資格失効))に該当する場合は特待生の適用が取り消されることがあります。	最大4年間※	6名以内 <教育学部> 若干名	地域の制限なし	広報部 学生募集チーム	併用可	併用可
	広報部	入学特待制度B	入学手続き時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		下記の免納結果において、特に優秀な成績をおさめて合格した者のうち、当該学部長が推薦し、学長が認めた者 ※入学初年度の授業料、教育充実費および施設設備費を全額免除 <芸術学部> ① 芸術学部芸術学科各領域の一般選抜(一般入試試験)期 ② 特別選抜(芸術学部エキスパート入試試験) ③ 特別選抜(プロフェッショナルアーティスト入試試験) ④ 芸術学部芸術学科各領域の専攻推薦(芸術学部)一般推薦入試試験 ⑤ 芸術学部芸術学科各領域の特待選抜(社会人学生入試試験、海外帰国生入試試験、外国人留学生入試試験) ⑥ ①～⑤以外で、実技または自己の作品やポートフォリオのプレゼンテーションを併用する芸術学科の入学試験 <教育学部> ① 教育学部子ども学科で実施された入学試験	免除・減免	入学初年度の授業料、教育充実費および施設設備費を年間合計50万円に減免※ ※名古屋芸術大学の特待生規定(第7条(特待生の資格失効))に該当する場合は特待生の適用が取り消されることがあります。	入学初年度のみ※	6名以内 <教育学部> 若干名	地域の制限なし	広報部 学生募集チーム	併用可	併用可
広報部	名古屋芸術大学 入学特待制度	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		人格が高潔で学習に意欲が高く、かつ著しく学業成績優秀又は専門的学術技芸等の業績が高く(他の学生の模範と認めらるる)	免除・減免	授業料、教育充実費および実習費の全額を免除	特待生として認定された年度の1年間	17名以内	地域の制限なし	学務部 学生支援チーム	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他」の具体的な内容	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象者との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
名古屋商科大学	渉外部門入試広報担当	創立者奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	【趣旨】 学園の創立者である豊本純一先生の意志を引き継ぐべく「創始者精神」のもと、日頃から学園に対する姿勢とその成果を評価し、本学学生の活躍にちなみ学生に奨学金を支給します。 【条件】 前年度の定期試験における学修成績の平均ポイントが全学生の上位10名以内に入っていること。 【資格】 次の要件すべてを満たしていること。 ①前学期における出席率が90%以上であること。 ②前学期の履修単位数が18単位(4年次前期14単位以上、奨学金支給期間までに学納金が入金されていること(体育科目、集中講義科目、敬愛科目、留学に際しては認定される科目、成績評価がつかない科目は登録単位数から引かれたポイント計算に含みません)。 ③前学期中に、本学の他の一般奨学金を受けていないこと。ただし、学生奨励奨学金はこれに該当はしない。 ④奨学生として認定された学期の学納金が、本学の指定する納付期日までに全額納入されていること。	給付奨学金	100,000円(半年額)	6ヶ月	各学年定員5名	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	条件有り併用可	
	渉外部門入試広報担当	国際教育奨学金	その他	入学手続き時、在学中継続	寮制度	本学が実施する入学試験を受験、入学し、成績・人物ともに優秀な者が、本学が保有する国際寮へ入寮する方。2年次以降は各年度終了時前における学習成績および出席率が基準を満たしていることと受給継続。	給付奨学金	給付額は各国際寮のタイプによって異なり、月額40,000円から10,000円。成績・人物ともに優秀な学生で本学の国際寮に入居する者に限り。	年度別に給費査定を行います。該当年度において給費条件を満たさない場合は、給費種別の変更または給費を停止します。	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	併用可	
	渉外部門入試広報担当	学修奨励奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	本学を奨励し入学した者で、成績・人物ともに優秀な者。 3年次および4年次の支給にあたっては、次の要件を全て満たしていること。 1.年次と年次進達の学修成績(前期と後期を合わせた学修成績の平均ポイント)の平均が90以上であること。 1.年次と年次進達の平均出席率が90%以上であること。 1.2年次各学期の登録単位数が18単位以上であること。もしくは当該学期の授業期間中に留学奨励奨学金の支給を受け、国際交流プログラムに参加していること。	給付奨学金	第一種 年額 90万円 第二種 年額 60万円 第三種 年額 30万円	標準修業年限の4年間	20名以内	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	条件有り併用可	
	渉外部門入試広報担当	学長奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	【趣旨】 学生の学修に対する姿勢とその成果を評価し、本学学生の模範となる学生に奨学金を支給します。 【条件】 前年度の定期試験における学修成績の平均ポイントが創立者奨学金を除いた全学生の上位20名以内に入っていること。 【資格】 次の要件すべてを満たしていること。 ①前学期における出席率が90%以上であること。 ②前学期の履修単位数が18単位(4年次前期14単位以上、奨学金支給期間までに学納金が入金されていること(体育科目、集中講義科目、敬愛科目、留学に際しては認定される科目、成績評価がつかない科目は登録単位数から引かれたポイント計算に含みません)。 ③前学期中に、本学の他の一般奨学金を受けていないこと。ただし、学生奨励奨学金はこれに該当はしない。 ④奨学生として認定された学期の学納金が、本学の指定する納付期日までに全額納入されていること。	給付奨学金	50,000円(半年額)	6ヶ月間	①年間50名程度 ②人数制限なし	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	条件有り併用可	
	渉外部門入試広報担当	同窓会奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	【趣旨】 本同窓会からの奨学金を基盤として学修成績ならびに継続的に課外活動を行う優れた学生の育成を目的として、文武両道を実践した学生12名以内を選出し、奨学金を支給します。 【条件】 前年度の学修成績の平均ポイントが2.0以上で、かつ前年度の出席率が95%以上であること。 【資格】 2年次以上で、体育もよし(は文化系のクラブに所属し、継続的に活動していること)、または学生団体3団体の役員として活躍していること。 【定員】 12名以内	給付奨学金	年額100,000円以内を給付		12名以内	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	併用不可	
	渉外部門入試広報担当	ギャップイヤー・プログラム奨学金	その他	新18年生は本学入学決定次期以降 2年生から4年生も対象	研修支援制度 留学費用支援制度	イギリスのギャップイヤーという異国の制度の考え方を取り入れたプログラム。1～2年次の前期をヨーロッパでの自主的活動にあてます。学生が自分の能力や適性を知り、教定では得られない「質」を獲得する機会を提供します。 【内容】 ヨーロッパ研修(見学、調査、企業訪問、ボランティア活動等)、ヨーロッパ研修前後の国内研修。 【期間】 毎年10月～1月下旬(約70日間) 【資格】 ① 選考時点で授業料等が完済済みであること ② 履修状況が良好であること ③ プログラム参加の意向に合格した者 【奨学金】 渡航前までにTOEIC受験	給付奨学金	往復航空券(上層15万円) 欧州・合同研修期間と海外研修最終日(3日か4日)のホテル宿泊費 アプリ一部宿泊費		①年間10名程度	地域の制限なし	学生支援部門国際交流担当	併用可	併用可	
	渉外部門入試広報担当	フロンティアスピリットプログラム奨学金	在学中	2年生～4年生	研修支援制度 留学費用支援制度	カナダ、中国での大学附属の語学学校にて語学を集中的に学ぶプログラムです。 【内容】 スクーリング(語学研修)／カナダ 13週間、中国 17週間 【資格】 以下の条件を全て満たしていること。 ① 各学期に所属する学年から4年次の正規学生であること ② 入学以来進達の学修成績(前期と後期を合わせた学修成績の平均ポイント)が2.0以上、出席率が95%以上 ③ カナダはTOEIC200点以上、中国は中国語の学習経験があること ④ 選考時点で授業料等が完済済みであること ⑤ 健康状態が良好であること 【奨学金】 カナダ クイーンズ大学、マギル大学、アルバータ大学 中国 北京外語語大学	給付奨学金	留学先授業料、往復航空運賃(上層15万円) 合計：カナダ約100,000円／中国 約100,000円			地域の制限なし	学生支援部門国際交流担当	併用可	併用可	
	渉外部門入試広報担当	国際ボランティアプロジェクト奨学金	在学中	1年生～4年生	研修支援制度 留学費用支援制度	世界30ヶ国(欧州中心)を舞台に、各県から集まった若者とともに生活しながら、環境保護、建設、修復、社会福祉等、地域社会発展のためにボランティア活動に参加します。 【内容】 異文化理解・交流、地域社会奉仕を目的としたボランティア活動 【期間】 1月下旬から8月上旬(内、4週間) 2月中旬から3月下旬(内、4週間) 【参加費】 「国際ボランティア活動」と「国際ボランティア活動」を合計3単位を卒業要件として認定します。レポート、プレゼンテーションによる評価で判断されます。 ※プログラム終了時に「国際ボランティア活動」の単位修得済みであること。 【応募要件】 ① TOEIC受験継続 ② プログラム参加時に1年か4年次(春期は1年か3年次) ③ 参加に支障のない健康状態であること ④ 選考時点で授業料等が完済済みであること ⑤ 本学の学生としてふさわしい人物で問題行動履歴なし 【奨学金支給要件】 ① 応募要件を満たしていること ② 入学以来進達の学修成績(前期と後期を合わせた学修成績の平均ポイント)が2.0以上 ③ 入学以来進達の出席率が95%以上 【奨学金】 渡航前までにTOEIC受験	給付奨学金	渡航往復航空運賃相当額(上層15万円)			地域の制限なし	学生支援部門国際交流担当	併用可	併用可	
	渉外部門入試広報担当	(入試)成績優秀者奨学金※4年間最大360万円給費	その他		一般選抜前期出願締切：1月下旬(自動エントリー)	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	奨励生：全学部対象 2023年度の下記試験区分合格者を対象に支援を行うための、エントリー等の事前手続きは必要ありません。 一般入試A～一般入試B～一般入試M/共通テストプラス/共通テスト利用前期	給付奨学金	給付額 1種：80万円/年額 2種：60万円/年額 3種：30万円/年額 試験の結果により奨学金を給付いたします。	4年間(奨学金の給費は学期別に実施され、その継続には一定の条件があります。したがって、奨学金給付対象者が学修成績、出席率などの条件を満たさない場合は奨学金の支給を停止することがあります。)	該当入試における募集定員の上位20%以内	地域の制限なし	渉外部門入試広報担当	併用可	併用可
渉外部門入試広報担当	特別奨学生入試※4年間最大360万円給費	その他		出願締切：11/13(水)～12/2(月)※自動エントリー	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	奨励生：全学部対象	給付奨学金	給付額 1種：80万円/年額 2種：60万円/年額 3種：30万円/年額 試験の結果により奨学金を給付いたします。	4年間(奨学金の給費は学期別に実施され、その継続には一定の条件があります。したがって、奨学金給付対象者が学修成績、出席率などの条件を満たさない場合は奨学金の支給を停止することがあります。)	該当入試における成績優秀者上位20%以内	地域の制限なし	渉外部門入試広報担当	併用可	併用可	
南山大学	経営本部 総務・人事部 補助金課	南山大学臨時奨学金	在学中	全学年	学費支援	本学の大学館または学部にて在学し、学費納入が滞りなく、自自行方正かつ学業成績が平均水準以上の者。または、実習支援者の実習、職産その他の事由により実習状況が急に変化した者。全学年を対象であり、其の期間は、原則1学期以内。本人の申請に基づき、経路が決定し次第、一括で支給する。	貸与奨学金	当該学期の授業料、教育充実費、施設設備費、LL実習費(英米学科)相当額	原則2学期以内	各学年50名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	経営本部 総務・人事部 補助金課	南山大学同窓会給付奨学金	在学中	2年生～4年生	学費支援	一定の成績を修めている等部学生のうち、経済的困難度の高い者。選考にあたっては地域性も考慮する。年度ごとに選考を実施。12月に一括で支給する。	給付奨学金	300,000円	一括支給	30名	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	経営本部 総務・人事部 補助金課	南山大学給付奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	一定の成績を修めている等部学生のうち、経済的困難度の高い者。年度ごとに選考を実施。12月に一括で支給する。	給付奨学金	300,000円	一括支給	50名	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	経営本部 総務・人事部 補助金課	南山大学友の会給付奨学金	在学中	1年生	学費支援	一定の成績を修めている等部学生のうち、経済的困難度の高い者。1年次対象。年度ごとに選考を実施。12月に一括で支給する。	給付奨学金	300,000円	一括支給	22名	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有り併用可	
	経営本部 総務・人事部 補助金課	南山大学奨励奨学金(学業成績)	在学中	2年生～4年生	その他	奨励	学業成績が特に優秀な者(当該年度学部長表彰影響者の中から前年度の学業成績に基づいて選考)。年度ごとに選考を実施。10月頃に一括で支給する。	給付奨学金	200,000円	一括支給	32名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	経営本部 総務・人事部 補助金課	南山大学奨励奨学金(学術・文化・スポーツ)	在学中	2年生～4年生	その他	奨励	学術、文化、スポーツの分野において特に顕著な成果を上げた個人または団体(前年度学生部長表彰影響者の中から選考)。年度ごとに選考を実施。10月頃に一括で支給する。	給付奨学金	個人300,000円 団体500,000円	一括支給	制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	経営本部 総務・人事部 補助金課	南山大学創立50周年記念奨学金	在学中	2年生～4年生	学費支援	日本学生支援機構奨学金(緊急採用・応急採用)に前年度本学より推薦された学部学生または南山大学臨時奨学金を前年度に貸与された学部学生。一定の成績を修めている等部学生のうち、困難度の高い者。年度ごとに選考を実施。8月下旬に一括で支給する。	給付奨学金	第一種 700,000円 第二種 350,000円	一括支給	第1種 2名 第2種 4名	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有り併用可	
	経営本部 総務・人事部 補助金課	神道会奨励奨学金	在学中	全学年	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	神道会に属する司教・神道者が対象。学生納入金減免申請書の提出により、在学期間中減免される。	給付奨学金	入学料定額、入学金、授業料、教育充実費、施設設備費、LL実習費(英米学科)相当額	在学期間中	制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	経営本部 総務・人事部 補助金課	留学給付奨学金	在学中	2年生～4年生	留学費用支援制度	本学の派遣留学制度(交換留学・協定留学)により留学する学生を対象とする。学業成績優秀、人物良好かつ留学目的が明確であり、経済面において奨学金の必要性が高い者。学内審査あり。留学奨励奨学金および留学員奨学金と併用が可能。	給付奨学金	300,000円または500,000円(ただし、500,000円は特別な事情がある場合のみ)	一括支給	20名以内	地域の制限なし	国際センター事務局	併用可	併用可	
	経営本部 総務・人事部 補助金課	留学奨励奨学金	在学中	2年生～4年生	留学費用支援制度	本学の派遣留学制度(交換留学・協定留学)により留学する学生を対象とする。学業成績優秀、人物良好かつ留学目的が明確であり、経済面において奨学金の必要性が高い者。学内審査あり。留学奨励奨学金および留学員奨学金と併用が可能。	給付奨学金	交換留学は1学期あたり100,000円、協定留学は1学期(※)あたり150,000円 ※3ヶ月未満は1学期として算出	一括支給	100名以内	地域の制限なし	国際センター事務局	併用可	併用可	
経営本部 総務・人事部 補助金課	留学員奨学金	在学中	2年生～4年生	留学費用支援制度	本学の派遣留学制度(交換留学・協定留学)により留学する学生を対象とする。学業成績優秀、人物良好かつ留学目的が明確であり、経済面において奨学金の必要性が高い者。学内審査あり。留学奨励奨学金および留学員奨学金と併用が可能。	貸与奨学金	300,000円、500,000円または1,000,000円	一括支給	100名以内	地域の制限なし	国際センター事務局	併用可	併用可		
経営本部 総務・人事部 補助金課	南山大学フライングメッツ給付奨学金	その他	入学前年度または前々年度	入学金・授業料減免 ②学費支援	授業料減免制度やファミリーホームへも入居費・出身費および帰国費用で買ったもの、高等教育の修学支援新制度の出願費を減額し、本学1年次への進学を希望する者。年度ごとに継続可否を判定する。	給付奨学金 その他	入学料定額、入学金、授業料、教育充実費および実習費相当額(学納金と相殺) 給付学費(月額30,000円)	標準修業年限	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
名城大学	入学センター	入試成績優秀奨学生	入学手続時		特待生・成績優秀者		一般選抜(A方式)において、各学部成績上位の合格者(対象者約500名※)の内、入学した者 ※対象者には、A方式合格通知書にてお知らせいたします。	給付奨学金	授業料半額の1/2	入学年度のみ対象	対象者全員	地域の制限なし	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可	
	入学センター	学業優秀奨励制度	在学中	前3年度生、推薦型	特待生・成績優秀者		前3年度生で、2年度までの学業成績および人物優秀者(奨学科目は前3年度生で、4年度までの学業成績および人物優秀者) 成績基準: 次の(1)および(2)に該当する者 (1)2年度までに2単位以上(教職および学芸員に属する授業科目、自由科目を除く。)を、修得している者 課外科目4年度までに10単位以上を、修得している者 (2)履修登録科目の平均点が60点以上の者	その他	3万円相当の金品	①1年間 ②1回限り	260人	地域の制限なし	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可	
	入学センター	学業優秀奨励学生	在学中	前4年度生、推薦型	特待生・成績優秀者		前4年度生で、3年度までの学業成績および人物優秀者 成績基準: 次の(1)および(2)に該当する者 (1)3年度までに3単位以上(教職および学芸員に属する授業科目、自由科目を除く。)を、修得している者で、卒業見込みの者(奨学科目を除く) (2)履修登録科目の平均点が60点以上の者	給付奨学金	授業料半額の1/2	①1年間 ②1回限り		各学科で1人(奨学科目は人)	地域の制限なし	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可
	入学センター	修学援助B奨学生	在学中	随時	学費支援		学務生、大学院生で主たる養育支持者(学費負担者)の死亡、疾病、失業(自己都合を除く。)または、火災、風水害等の被害により家計が急変し、修学の意思があるにもかかわらず、経済的に困窮している者。 寄附金等(前年度からの寄附金等)を、学費負担者から別荘による控除後の合計額が400万円以下とする。ただし、事業所得者の前年所得合計額がマイナスの場合は、0円として計算する。 成績基準: 学務部があり、学業を継続して履修に努めている見込みがあること。	給付奨学金	年間一律30万円			該当する者全員	地域の制限なし	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可
	入学センター	利子補給奨学生	在学中		用途を定めない経済的支援		経済的な理由により、本学と提携する銀行(三菱UFJ銀行)の教育ローンを利用した者。	給付奨学金		当該年度までの学費を上限とする借入額の支払利率に、教育ローン利用者の年収に応じた給付率(50%または100%)を乗じた額		該当する者全員	地域の制限なし	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可
	入学センター	大規模自然災害等経済的支援奨学生	在学中		被災者学費支援		災害救助法が適用された(または外務省による国際緊急援助が行われた)大規模自然災害により家計が急変し、修学が困難になった学生および入学試験出願者。	給付奨学金		授業料・実務実習費・施設費の半額、または年額の1/2、入学試験出願者については、加えて入学検定料、入学金の全額。		該当する者全員	地域の制限なし	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可
	入学センター	社会人学生奨励学生	入学後		入学金・授業料減免		社会人入学試験により入学した学部生	免除・減免		授業料および実務実習費年額の1/2		該当する者全員	地域の制限なし	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可
	入学センター	本学卒業等補助奨学生	入学手続時		入学金・授業料減免		①本学で研究科、他の学部へ入学する者 ②本学に籍を置いた上で退学の者、再入学する者	給付奨学金		入学金の半額		該当する者全員	地域の制限なし	学務センター生活支援グループ	併用可	併用可
	入学センター	校友奨励学生	在学中		特待生・成績優秀者		人物優秀者で学業成績または体育技能優秀者	給付奨学金		校友会が決定		校友会が指定	地域の制限なし	名城大学校友会	併用可	併用可
	入学センター	私費外国人留学生A奨学生	在学中		留学期間支援制度		留資格が「留学」の私費外国人留学生	免除・減免		授業料半額の3/10		該当者	地域の制限なし	国際化推進センター	併用可	併用可
	入学センター	派遣交換留学奨学生	在学中		留学期間支援制度		海外協定校との交換留学制度に基づく留学を認められた者(人物・学業成績優秀者、または当該留学の語学能力検定試験高得点取得者) 留学期間が3か月以上1年以上以内を対象とする。留学期間が3か月未満の場合は海外研修奨学生として取り扱う。	給付奨学金		[アジアへの交換留学] 月額: 4万円 [アジア以外への交換留学] 月額: 6万円		該当者	地域の制限なし	国際化推進センター	併用可	併用可
	入学センター	海外研修奨学生	在学中		留学期間支援制度		本大学の大学間留学交流協定(条件を満たす学部または研究科を含む)に基づく海外研修等で、研修期間が7日以上のある者。ただし、人間学部の海外研修を除く。	給付奨学金		5万円		該当者	地域の制限なし	所属学部	併用可	併用可
	入学センター	海外英語研修派遣支援A奨学生	在学中		留学期間支援制度		国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラムまたは学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者で、学部等の国際委員会が実施する選考により採用された者	給付奨学金		20万円または研修費用総額の1/2のいずれか少ない額		毎年180人以内	地域の制限なし	国際化推進センター	併用可	併用可
	入学センター	海外英語研修派遣支援B奨学生	在学中		留学期間支援制度		国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラムまたは学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者 ※海外英語研修プログラムとは、外国における本大学の大学間留学交流協定校(条件を満たす学部または研究科を含む。)または国際化推進センターによる協定校で、主として英語能力の向上を目的とした学習を行うものを指す。	給付奨学金		7万円		該当者	地域の制限なし	国際化推進センター	併用可	併用可
愛知文教大学	入試広報センター	特別奨励生試験制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		在学4年間 人文学部人文学科 特別奨励生試験を受験して成績が優秀な方(特別奨励生として合格した者) 2年度以降は、前年度の学業成績(卒業試験の要無者)。	給付奨学金	A: 入学金+4年間の授業料全額の総額3,320,000円 B: 入学金+4年間の授業料半額の総額1,760,000円	毎年夏季	5名以内	地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可	
	入試広報センター	ABU特待生奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		1年度: 2年度対象 人文学部人文学科 「一般入試前期(3教科型・3教科型)」と一般入試後期(1)の合格者のうち、入試結果および出身高等学校での学業成績や運動技能が優秀な方	給付奨学金	授業料半額390,000円	2年間(2年度への継続にあり審査あり)		地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可	
	入試広報センター	特待生奨学金制度	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者		2~4年 人文学部人文学科 前学期の学業成績により選抜します	給付奨学金	授業料の一部	1年間	年間10名以内	地域の制限なし	入試広報センター	併用可	条件有り併用可	
	入試広報センター	留学期間支援制度	学校出願時		留学期間支援制度		人文学部人文学科 2~4年 本学の留学期間プログラムを利用し半年以上留学期間	給付奨学金		留学期間の授業料を4分の3免除	留学期間中	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可
	入試広報センター	指定校奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		1年度: 2年度 人文学部人文学科 指定校推薦入試合格者のうち、入試結果および出身高等学校での学業成績や運動技能が優秀な方	給付奨学金	授業料半額390,000円	2年間(2年度への継続にあり審査あり)		地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可	
	名古屋文理大学	入試広報・学事課	一般選抜一般入試(前期)3科目型、2科目型成績上位者奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		一般選抜一般入試(前期)3科目型、2科目型の成績上位者 人数: 各学科若干名	免除・減免		1年度授業料半額を奨学金として付与。			地域の制限なし		併用可
入試広報・学事課		総合型選抜 特別奨励生入試	学校出願時		特待生・成績優秀者		(3科目型) 対象: 合格者のうち、成績上位者を奨励生とする 人数: 対象者全員 金額: 2年度授業料の半額を奨学金として付与 ※2年度の奨学金交付については1年度の学科内の成績が上位50%以内を満たすことが条件	免除・減免		2年度授業料の半額を奨学金として付与 ※2年度の奨学金交付については1年度の学科内の成績が上位50%以内を満たすことが条件	2年間	①若干名 ※今年度初導入のため未定	地域の制限なし		併用可	併用不可
入試広報・学事課		総合型選抜高大接続入試スポーツ奨励学生	学校出願時		特待生・成績優秀者		スポーツで優れた活動成績を有し、入学後も本学でその活動発展が期待できる者 推薦を希望する者 人数: 高大接続入試として健康栄養学科(1名)、フードビジネス学科(若干名)、情報メディア学科(若干名)	免除・減免		1年度授業料の半額を奨学金として付与。			地域の制限なし		併用可	
入試広報・学事課		総合型選抜高大接続入試専門課程生徒対象奨励学生	学校出願時		特待生・成績優秀者		本学での進学を強く希望する専門学科および総合学科生徒を対象とした入試で次の条件を満たす者 ・高等学校の職業教育を主とする学科または総合学科2年以内(卒業した者、および該当年度に卒業見込みの者) ・出身学校設置書の全体の評定平均値が3.5以上の者 ・本学の教育実習を履修し、入学を希望している者 採用人数: 高大接続入試として各学科(若干名)	免除・減免		1年度授業料の半額を付与			地域の制限なし		併用可	
入試広報・学事課		名古屋文理大学奨学金制度(第一種)	在学中	3年生~4年生	学費支援		本学に在学する人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な学生。 対象人数: 各学科3.4年度若干名	給付奨学金		年間300,000円を付与	1年間	若干名	地域の制限なし	教務課	併用不可	併用可
入試広報・学事課		名古屋文理大学奨学金制度(第二種)	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者		学業成績優秀者(原則として所属する学科の前年度までのGPA第1位、第2位) 採用人数: 各学科2.3.4年度生、各2名	給付奨学金		年間500,000円を付与	1年間	18名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可
入試広報・学事課		名古屋文理大学奨学金制度(第五種)	在学中	1年生~4年生	その他		正課教育及び課外活動等において特に活躍が認められ、他の学生の模範となると認められる者。 採用人数: 全学科・学年で各名	給付奨学金		年間200,000円	1年間	1名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可
入試広報・学事課		総合型選抜高大接続入試ワークショップ参加奨励学生	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象学科: フードビジネス学科、情報メディア学科 条件: 本学のワークショップに参加した者	免除・減免		1年度前期授業料に入学金相当額(200,000円)を奨学金として付与。			地域の制限なし		併用可	
入試広報・学事課		総合型選抜高大接続入試資格取得奨励学生	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象学科: フードビジネス学科、情報メディア学科 資格: 本学募集要項にて学科別に指定する資格に合格した者	免除・減免		1年度前期授業料に入学金相当額(200,000円)を奨学金として付与			地域の制限なし		併用可	
入試広報・学事課		総合型選抜 高大接続入試 自己推薦型活動評価奨励学生	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象学科: 全学科 条件: 奨学生として合格	免除・減免		1年度前期授業料に入学金相当額(200,000円)を奨学金として付与。		①若干名 ②人数制限なし	地域の制限なし		併用可	併用不可
愛知工科大学	入試広報課	授業料免除制度	在学中	全学年(1年生及び3年度編入学生は後期より)	入学金・授業料減免		経済的理由により授業料の納付が困難で、本学が定める要件や基準に該当する者。	免除・減免		授業料の半額	各期	対象者全員	地域の制限なし	学務課	条件有り併用可	条件有り併用可
	入試広報課	学務奨励金制度	その他		特待生・成績優秀者		申請はなし。各学科の学科長からの推薦による。	給付奨学金		3万円	一度のみ	各学科の各学年より名	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可
	入試広報課	フットボール奨学金制度	その他		入学手続時および、入学後。	用途を定めない経済的支援	本学卒業生の子弟および学生の兄弟・姉妹が入学した場合。	給付奨学金		10万円	入学時	対象者全員	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可
	入試広報課	教育ローン利子補給奨学金制度	在学中	全学年 12月上旬	学費支援		学生の保護者などが金融機関の教育ローンから融資を受けている者。	給付奨学金		当該年度に納入する学納金に対して償還した教育ローンに保護者が支払った利率相当額	年に一度(3月末に支給)	対象者全員	地域の制限なし	学務課	併用不可	併用不可
	入試広報課	大学入学共通テスト利用奨学金制度	その他		入学金・授業料減免		大学入学共通テストの試験結果により、大学入学共通テスト利用選抜の出願者は自動的に「エントリー」、その他の入学希望者は合格している場合のみ「一般型エントリー」期間に、大学入学共通テスト利用選抜(前期)の出願期間に準ずる。	入学前・入学入学共通テストにおいて、本学の入学選考利用科目のうち、数学、理科のいずれか1科目が70点以上の者。 入学後: 上記該当者のうち、1年度前期の成績や出席状況などが学内基準を満たす者は、1年度後の授業料を給付。	免除・減免	授業料額(45万円)	①在学した日、②進級は成績による判定を行い、該当する者のみ支給	対象者全員	地域の制限なし	入試広報課	条件有り併用可	条件有り併用可
	入試広報課	指定校特別奨学金制度	その他		学校推薦型選抜(指定校)合格後、大学割が決定し決定。	入学金・授業料減免	学校推薦型選抜(指定校)合格者のうち、全体の評定平均が3.6以上の者。	免除・減免		10万円	入学時	対象者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	入試広報課	女子特別奨学金制度	学校出願時		入学金・授業料減免		モンゴウに興味があり、本学で勉強したいという強い意志のある女子で、総合型選抜(女子特別)での合格者。	免除・減免		入学金から10万円	1回限り	対象者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有り併用可
	愛知東洲大学	入試広報課	東洲STEP奨学金	在学中	1年生~4年生	特待生・成績優秀者		対象: 1年~4年生 学部: 全学部 資格: 東洲STEP受講生	給付奨学金		所属学部の授業料+東洲STEP受講料	1年間	各学年10名以内	地域の制限なし	学生・キャリア支援課	併用可
入試広報課		スポーツ・音楽推薦特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象: 1~4年生 学部: 全学部 条件: スポーツ・音楽推薦入試の合格	免除・減免		S特待生: 入学金、授業料、教育充実費、施設設備費 A特待生: 入学金、教育充実費、施設設備費 B特待生: 施設設備費 C奨学生: 入学金	4年間(※継続審査あり)	人数制限なし	地域の制限なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可
入試広報課		TOHO Learning House奨学金	在学中	1年生~4年生	課外活動支援制度		対象: 1年~4年生 学部: 全学部 資格: TOHO Learning Houseのゲストハウス入選において、選出の中でリーダーシップを発揮し、企画・運営に取り組む学生	給付奨学金		年間10万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他の具体的な内容」	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
京成大学	入試広報課	石田せん(企画)・徳先生 建学の精神奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学・授業料減免	1年～4年生の授業料等・リハビリテーション学部対象 ①入学に入学する学生で、本学の「特別奨学生奨励」で優秀な成績を挙げた者。 ②2年次以降は継続条件があります。 ※詳細は本学募集要項に記載	免除・減免	【給付学部】 S8学生 授業料全額 A8学生 授業料半額 【リハビリテーション学部】 S8学生 授業料全額 A8学生 授業料半額		【給付学部】 S8学生 2名以内 A8学生 6名以内 【リハビリテーション学部】 S8学生 各専攻から1名ずつ A8学生 各専攻から1名ずつ	地域の制限なし	入試広報課		条件有り併用可	
	入試広報課	指定強化クラブ奨学金	学校出願時		入学・授業料減免	経営学部(指定強化クラブ所属者)で条件を満たした者に限る 個人または団体活動等において優秀な成績を挙げた者。 各クラブ期間がそれに相当すると判断し推薦した者。 ※詳細は本学募集要項に記載	免除・減免	S8学生 入学金 全額・授業料 全額 A8学生 入学金 半額・授業料 半額 など			地域の制限なし	入試広報課		条件有り併用可	
	入試広報課	私費外国人 留学生入学奨学金	学校出願時		入学・授業料減免	私費留学生(在留資格「留学」を有する者、または得られる者)	免除・減免				地域の制限なし	入試広報課		条件有り併用可	
	入試広報課	私費外国人 留学生経済支援奨学金	学校出願時		入学・授業料減免	私費留学生(在留資格「留学」を有する者、または得られる者) 収入証明書を提出し、定められた条件を満たした者。 ※詳細は本学の外国人留学生募集要項に記載	免除・減免					地域の制限なし	入試広報課		条件有り併用可
	入試広報課	私費外国人 留学生成績優秀者奨学金	学校出願時		入学・授業料減免	私費留学生(在留資格「留学」を有する者、または得られる者) 【新入生】日本語能力試験N2合格等、各種条件者 【在学中】日本語能力試験N1取得等、各種条件者。 その他条件者。 ※詳細は本学の外国人留学生募集要項に記載	免除・減免					地域の制限なし	入試広報課		条件有り併用可
	入試広報課	学業成績優秀者奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者	各学部の1年～4年生で優秀な成績を収めた者	給付奨学金					地域の制限なし	入試広報課		条件有り併用可
名古屋学芸大学	学生部 学生課	学業成績優秀奨学金	在学中	1年生～4年生(4年生後期を除く)	特待生・成績優秀者	各学科・各学年の学業成績優秀者(4年生後期を除く)に対して、5万円を奨学金として給付します。	給付奨学金	5万円	各学年の各学期	56名(各学科の学年に1名程度)	地域の制限なし	学生部 学生課	併用可	併用可	
	学生部 学生課	学業成績優秀者「育英奨学金」	在学中	1年生～4年生(4年生後期を除く)	特待生・成績優秀者	各学科・各学年の学業成績優秀者(4年生後期を除く)のうち経済的支援を要する学生	免除・減免	半期授業料の1/2相当額から5万円を差し引いた額	各学年・各学期	56名	地域の制限なし	学生部 学生課	併用不可	併用不可	
	学生部 学生課	課外活動等奨励奨学金	その他	各年度	課外活動支援制度	課外活動並びに社会貢献活動等において著しく優秀な成績を挙げた学生	給付奨学金	5万円		十数名程度・年度毎	地域の制限なし	学生部 学生課	併用可	併用可	
	学生部 学生課	緊急経済支援特別措置(授業料減免)	その他	各学期2回	入学・授業料減免	入学後、経済状況の悪化(失職、倒産等)による家計の急変によって学費の納付が困難となった学生	免除・減免	当該年度の半期授業料の1/2相当額	当該年度半期分	人数制限なし	地域の制限なし	学生部 学生課	併用不可	併用可	
	入試広報課	専攻奨励奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者	1年次:学力基準と家計基準の両方を満たす者 ・学力基準(S100)+S50(共通) ①学校推薦型選抜(指定校)を受験し、合格した者。 ②総合型選抜または学校推薦型選抜(一般選抜)または一般選抜(前期)を受験し、合格した者でその成績が優秀な者、もしくはスポーツ能力や学芸活動の分野で顕著な者。 ・家計基準 S100) 標準収入が55万円以下に該当。 S50) 標準収入が40万円以下に該当。 2年次以降:1年次の専攻奨励奨学金対象者で、家計基準を満たし継続的に優秀な者。	免除・減免	S100) 期間の授業料の全額を減免 S50) 期間の授業料の半額を減免	修業年限(4年間)		1-学校推薦型選抜(指定校):本学の規定による。 2-総合型選抜および学校推薦型選抜(一般選抜)および一般選抜(前期):本学総務課員数の10%以内	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
岡崎女子大学	入試広報課	奨励奨励者出身者支援奨学金制度	入学手続時		奨励奨励者 入学・授業料減免	1年～4年生対象 ※2年生以降は①-④のみで審査する ①本学の入学試験(社会人入試は除く)に合格し、入学した者 ②知事推薦(市内)の高等専修学校または中等教育学校をいれずとも通修制を除くを卒業見込みの者、または卒業した者 ③本人生活費を十分にまかなえずに生活している場合(住居費)または(一般選抜)または(一般選抜)を受験し、合格した者 ④上記以外の自己申告による者 ⑤上記以外の、書類上の「所得証明書」(市区町村発行のもの)記載の収入・所得金額を合算した金額が下記に該当する者 ・給付:入学収入金額(課税額) 48万円未満 ・その他、事業所得金額:35万円未満	給付奨学金	年間24万円	6月と12月に給付金額の半額ずつ	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
	入試広報課	特別奨学生	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	2年～4年生 適算GPA上位者から選考する。	免除・減免	授業料の半額を免除	1年間	若干名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可	
	入試広報課	奨学生S	学校出願時		入学・授業料減免	大学入学共通テスト利用入試1期での成績上位者5名	免除・減免	入学から4年間授業料半額免除	4年間	5名	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
	入試広報課	奨学生A・奨学生B	学校出願時		入学・授業料減免	下記①②の試験の成績優秀者 ①一般入試A日程・B日程 ②大学入学共通テスト利用入試1期・2期	免除・減免	奨学生A 入学金全額・初年度授業料半額免除 奨学生B 初年度授業料半額免除	1年間 *進級時に成績等による審査があります	若干名	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
	入試広報課	同窓子女減免制度	学校出願時		入学・授業料減免	いずれの入試で合格しても入学金が半額免除されます。 ※同窓子女とは 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学に在籍中の者または卒業した者の二親等以内の親族(婚姻は除く)、または岡崎女子短期大学附属施設(機関)・施設(機関)・第一号・第二号の親戚(婚姻)・準親戚です。 ※出願時に「同窓子女奨励書」の提出が必要です。	免除・減免	いずれの入試で合格しても入学金が半額免除されます。	1回限り	条件の該当者全て	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
	入試広報課	社会人減免制度	学校出願時		入学・授業料減免	社会人入試で合格すると入学金が半額免除されます。 岡崎女子大学または岡崎女子短期大学の卒業生は入学金が全額免除となります。	免除・減免	社会人入試で合格すると入学金が半額免除されます。 岡崎女子大学または岡崎女子短期大学の卒業生は入学金が全額免除となります。	1回限り	条件の該当者全て	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
名古屋学芸大学	教務部 学生支援課	特別給付奨学金1年次奨励奨励学生	その他	1年次学業成績GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者	こども学部・こども学科に在学する学生で、毎年度の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 2年次の学業成績GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	1年次の学業成績GPAが上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	教務部 学生支援課	特別給付奨学金2年次奨励奨励学生	その他	2年次学業成績GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者	こども学部・こども学科に在学する学生で2年次の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 2年次の学業成績GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	2年次の学業成績GPAが上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	教務部 学生支援課	特別給付奨学金3年次奨励奨励学生	その他	3年次学業成績GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者	こども学部・こども学科に在学する学生で3年次の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 3年次の学業成績GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	3年次の学業成績GPAが上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	教務部 学生支援課	特別給付奨学金4年次奨励奨励学生	その他	4年次学業成績GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者	こども学部・こども学科に在学する学生で4年次の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 4年次の学業成績GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	4年次の学業成績GPAが上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	教務部 学生支援課	特別給付奨学金緊急奨励学生	在学中	1年次から4年次	学費支援	こども学部・こども学科に在学する学生 ①学費支援対象者の欠陥、陥落、事故、病気等により家計が急変し、進学が困難となった者で、かつ1年次において1年次前期の学業成績がC以上の者 ②2年次以降に在学中に1年次の学業成績GPA順位が上位3位以内の者 申請は、在学中であれば家計急変事由発生月から12月以内で随時 在学期間中、緊急奨励学生の採用は1回のみ	給付奨学金	当該年度の授業料半額相当額	1年間	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可	
	教務部 学生支援課	特別給付奨学金奨励奨励学生	在学中	1年次から4年次	学費支援	こども学部・こども学科に在学する学生で学業成績が優秀かつ向学の意志のある者で、各学年における前期の学業成績GPA順位が上位3分の1以内の者 経済的に困難し、支援を必要とする者で家計基準については、日本学生支援機構「第1種奨学金」の算定方法を準用する 在学期間中、奨励奨励学生の選考は制限がない	給付奨学金	年間12万円	1年間	10名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可	
	教務部 学生支援課	特別給付奨学金特別活動奨励奨励学生	在学中	1年次から4年次	課外活動支援制度	こども学部・こども学科に在学している学生で学業における活動で顕著な成績を挙げたと認められる者 他の学生の模範となる者 在学期間中、特別活動奨励奨励学生の選考は制限がない	給付奨学金	3万円	1年間	10名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	教務部 学生支援課	マーガレット・ヤング奨学金	在学中	1年次から4年次	学費支援	こども学部・こども学科に在学する学生 学業成績が優秀かつ向学の意志のある者で、1年次において高校在学時の学業成績評定平均値が3.5以上の者で、2年次～4年次においてそれぞれ前年度の学業成績GPA順位が上位3分の1以内の者 経済的に困難し、支援を必要とする者。但し、家計基準については、日本学生支援機構「第1種奨学金」の算定方法を準用する	給付奨学金	年間12万円	1年間	年間10名まで	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可	
	認知医療学院大学	入学企画課・広報課	特待生制度	入学後		特待生・成績優秀者	2年次・3年次・4年次の学生を対象に、前年度の学業が優秀な学生に対して翌年度の1年間の授業料60万円を免除します。	免除・減免	1年間の授業料60万円	①1年間	①年間2名程度	地域の制限なし	キャリア支援課		